

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()																	
	1 項	総務管理費		第 節			()																	
	1 目	一般管理費		()			()																	
実施計画掲載ページ			小 事 業	功労者表彰・礼遇者関係費																				
事業コード			事 業 名	市政功労者表彰事業																				
目的及び事業内容		<p>市の行政、経済、文化、社会その他各般にわたって市政の振興に寄与し、又は市民の模範と認められる善行があった個人・団体を表彰し、その功績を讃える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政功労者表彰候補者の推薦依頼 ・推薦委員会及び審査委員会の開催 ・表彰式の開催 																						
取 組 実 績		<p>1 市政功労者表彰候補者の推薦依頼 市報・ホームページによる市民への周知及び各課への通知により、市政の発展に功績のある方の推薦を依頼し、140名の推薦があった。</p> <p>2 推薦委員会及び審査委員会の開催 市政功労者表彰候補者として推薦された方々を、市民の方々に構成する推薦委員会及び部長等の市職員で構成する審査委員会で審査し、122名の市政功労者が決定された。</p> <p>3 表彰式の開催 (1) 市政功労者として決定された方々に表彰状及び記念品を授与するため、遊楽館 かなんホールにおいて表彰式を開催し、65名の功労者が出席された。 (2) 表彰式及び受賞者を、市報・地元新聞で周知した。</p>																						
成 果		<p>市政のために尽力した方々を表彰し、その功績を讃え、広く市民に知らせることにより、受賞者のさらなる活躍が期待できるとともに、市民の市政への参加意識の高揚に寄与することができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度別取組実績</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市政功労者推薦者数</td> <td>115名</td> <td></td> <td>140名</td> </tr> <tr> <td>市政功労者決定者数</td> <td>85名 (73.9%)</td> <td>震災により未実施</td> <td>122名 (87.1%)</td> </tr> <tr> <td>表彰式出席者数</td> <td>62名 (72.9%)</td> <td></td> <td>65名 (53.3%)</td> </tr> </tbody> </table>							年度別取組実績	H22	H23	H24	市政功労者推薦者数	115名		140名	市政功労者決定者数	85名 (73.9%)	震災により未実施	122名 (87.1%)	表彰式出席者数	62名 (72.9%)		65名 (53.3%)
年度別取組実績	H22	H23	H24																					
市政功労者推薦者数	115名		140名																					
市政功労者決定者数	85名 (73.9%)	震災により未実施	122名 (87.1%)																					
表彰式出席者数	62名 (72.9%)		65名 (53.3%)																					
成果に係る評価		<p>市政のために尽力した者を積極的に掘り起し、その功績を讃えることができたが、更に、出席率の向上のため開催にあたってはその手法を検討していくこととする。</p>																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	796,000	462,495					462,495																	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()	
	1 目	一般管理費		(1)	透明性の高い行政を推進する		()	
実施計画掲載ページ	P13		小 事 業	広聴事業関係費				
事業コード	01020102		事 業 名	広聴事業				
目的及び事業内容	より良いまちづくりをめざし、市民からの御意見・御提案を市政に反映するため、市政提案・苦情等意見の受付、陳情・要望受付、パブリックコメント等の広聴事業を実施する。							
取 組 実 績	<p>1 市政提案・・・・・・・・・・86件 提案ポスト49件、郵送22件、電子メール1件、来庁7件、電話7件</p> <p>2 苦情等・・・・・・・・・・272件</p> <p>3 陳情・要望・・・・・・・・・・90件 総務部2件、企画部8件、震災復興部30件、生活環境部4件、健康部1件、福祉部6件、産業部11件、建設部11件、教育委員会2件、病院局1件、河北総合支所4件、雄勝総合支所1件、河南総合支所2件、桃生総合支所2件、北上総合支所3件、牡鹿総合支所2件</p> <p>4 パブリックコメント・・5件の計画等に対する意見募集 (1)石巻市暴力団排除条例（案） (2)いしのまき水辺の緑のプロムナード計画（案） (3)（改訂版）石巻市高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画（案） (4)石巻市地域福祉計画（第3期） (5)石巻市第2次障害者計画・第3期障害者福祉計画（案）</p> <p>5 市政教室・・・・・・・・・・6回実施、参加人数122人 見学先：災害廃棄物処理施設、被災現場、魚町周辺</p> <p>6 市民意識調査・・・調査期間 8月1日～8月15日、調査配布数 2,500人 回収数 898人、回収率 35.92%</p> <p>※ なお、まちづくり懇談会、市長室開放デー、市政モニターは、東日本大震災の影響により中止とした。</p>							
成 果	市民の意見・要望に対し、市長が直接考え方を伝えることなどにより、市民が市政をより身近なものに感じ、更なる市政の復興への関心を高めるとともに意識の高揚を図ることができた。パブリックコメントでは、石巻市暴力団排除条例（案）以外で計53項目の貴重な御意見・御提言をいただき、各計画策定の参考とした。市政教室においては、市民が復旧・復興状況等を見学することにより、市政への理解を高めることができた。							
成果に係る評価	震災の影響により中止となった事業の再開については、復興状況等を見ながら検討する。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	426,000	331,912				331,912		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()																																																																												
	1 項	総務管理費		第 節			()																																																																												
	1 目	一般管理費		()			()																																																																												
実施計画掲載ページ			小 事 業	情報公開推進費																																																																															
事業コード			事 業 名	情報公開・個人情報保護事業																																																																															
目的及び事業内容	<p>1 情報公開 市民の市政について知る権利を保障するとともに、情報の一層の公開を図る。</p> <p>2 個人情報保護 本市の保有する個人情報の開示及び訂正を求めるとともに、個人情報の適正な取扱いを確保する。</p>																																																																																		
取 組 実 績	<p>1 公文書開示請求の決定状況</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">開示請求件数</th> <th colspan="6">請求に対する決定等</th> </tr> <tr> <th>開示</th> <th>一部開示</th> <th>開示拒否</th> <th>不存在</th> <th>その他</th> <th>取下</th> </tr> <tr> <td>162件</td> <td>57件</td> <td>73件</td> <td></td> <td>9件</td> <td>16件</td> <td>7件</td> </tr> </table> <p>2 個人情報開示請求の決定状況</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">開示請求件数</th> <th colspan="6">請求に対する決定等</th> </tr> <tr> <th>開示</th> <th>一部開示</th> <th>開示拒否</th> <th>不存在</th> <th>その他</th> <th>取下</th> </tr> <tr> <td>19件</td> <td>13件</td> <td>1件</td> <td></td> <td>5件</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>3 不服申立ての状況</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">不服申立件数(諮問)</th> <th colspan="5">申立てに対する処理状況等</th> <th colspan="2">審査会の状況</th> </tr> <tr> <th>却下</th> <th>棄却</th> <th>認容</th> <th>一部認容</th> <th>取下</th> <th>次年度繰越</th> <th>審査会開催数</th> <th>答申</th> </tr> <tr> <td>1件 (1件)</td> <td></td> <td></td> <td>1件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4件</td> <td>2件</td> </tr> </table> <p>4 情報公開コーナーの利用状況</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">利用件数</th> <th colspan="3">利用件数の内訳</th> </tr> <tr> <th>行政資料等の複写</th> <th>行政資料等の閲覧</th> <th>その他相談等</th> </tr> <tr> <td>1,429件</td> <td>132件</td> <td>232件</td> <td>1,065件</td> </tr> </table>							開示請求件数	請求に対する決定等						開示	一部開示	開示拒否	不存在	その他	取下	162件	57件	73件		9件	16件	7件	開示請求件数	請求に対する決定等						開示	一部開示	開示拒否	不存在	その他	取下	19件	13件	1件		5件			不服申立件数(諮問)	申立てに対する処理状況等					審査会の状況		却下	棄却	認容	一部認容	取下	次年度繰越	審査会開催数	答申	1件 (1件)			1件				4件	2件	利用件数	利用件数の内訳			行政資料等の複写	行政資料等の閲覧	その他相談等	1,429件	132件	232件	1,065件
開示請求件数	請求に対する決定等																																																																																		
	開示	一部開示	開示拒否	不存在	その他	取下																																																																													
162件	57件	73件		9件	16件	7件																																																																													
開示請求件数	請求に対する決定等																																																																																		
	開示	一部開示	開示拒否	不存在	その他	取下																																																																													
19件	13件	1件		5件																																																																															
不服申立件数(諮問)	申立てに対する処理状況等					審査会の状況																																																																													
	却下	棄却	認容	一部認容	取下	次年度繰越	審査会開催数	答申																																																																											
1件 (1件)			1件				4件	2件																																																																											
利用件数	利用件数の内訳																																																																																		
	行政資料等の複写	行政資料等の閲覧	その他相談等																																																																																
1,429件	132件	232件	1,065件																																																																																
成 果	<p>1 情報公開 公文書の開示請求に対しては、迅速かつ適切な開示を行うとともに、情報公開制度の適正な運営に努め、情報公開の推進に取り組むことができた。また、請求件数も前年度70件に対し158件と2倍以上となり、これまでの最高件数となった。これは、市民の市政に対する関心の高さを表しているものと思われるが、平成24年度においては、東日本大震災に関連する事案の請求が多く見受けられたものである。 情報公開コーナーの利用についても、昨年度594件に対し1,429件となり、市民に対する情報提供を円滑に行うことができたものである。</p> <p>2 個人情報保護 個人の権利利益の侵害の防止を図り、個人の人格と尊厳の尊重に寄与した。また、個人情報の取扱いに対する個人の関心に適切に対応し、本人に対し個人情報の開示を行ったことにより、不正確な情報によって個人が不測の不利益を被ることを未然に防止することができた。</p>																																																																																		
成果に係る評価	公文書の開示請求については、請求内容が詳細・広範囲にわたるものが多いことから、その情報の内容に応じ、保護される利益と公益上の必要性とを個別具体的に比較し、判例等を踏まえながら、画一的、一律的に決定することのないよう、適正かつ迅速な情報公開事務に努める必要がある。また、情報の一層の公開を図るため、市民に必要な情報を積極的に提供する情報提供施策の充実を図り、情報公開を総合的に推進していく必要がある。 個人情報保護については、今後も引き続き、個人の権利利益が侵害されることのないよう、個人情報保護条例を遵守し、情報公開・個人情報保護審査会の意見を踏まえながら、個人情報の適正な取扱いの確保に努めなければならない。																																																																																		
(単位：円)																																																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																													
	2,524,000	2,141,321			901,690	1,239,631																																																																													

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()	
	2 目	文書広報費		(1)	透明性の高い行政を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P13	小 事 業	広報活動費				
事業コード		01020101	事 業 名	「市報いしのまき」発行事業				
目的及び事業内容		行政情報を広く市民に周知する手段として市報を発行し、市民の市政への関心を高め、市政に対する理解と協力を得るため毎月発行する。						
取 組 実 績		<p>平成24年度から従来のA4判からタブロイド判に変更し、より多くの情報を迅速に伝え、紙面を一部カラー印刷にした。</p> <p>また、お知らせコーナーを縦書きから横書きとし、スポーツ・文化・催しについては表にするなど、見やすさ読みやすさを重視した市報の発行に努めた。</p> <p>〔市報発行〕 毎月1日発行、発行部数月63,500部、12ページ（うちフルカラー8ページ、白黒4ページ）</p> <p>掲載内容 ・災害復興に関するお知らせ ・市の財政状況 ・地震津波訓練の結果及び検証 ・祝成人式 ・石巻市職員の人事行政運営等のあらまし ・平成25年度施政方針 ・まちの話題 ・休日急患担当医</p>						
成 果		紙面の一部をカラー印刷にしたことにより、充実した紙面づくりができた。 また、身近で親しみやすい紙面として、市民に「ありがとう」をテーマにした投稿を募集し、市民が紙面に登場する機会を持つことにより市民の関心を高めた。						
成果に係る評価		今後も、市民が求めている情報の把握に努め、より分かりやすく、より読みやすい紙面づくりに努める。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	20,000,000		18,471,600				6,833,520	11,638,080

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()	
	2 目	文書広報費		(1)	透明性の高い行政を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P13	小 事 業	広報活動費				
事業コード		01020103	事 業 名	ホームページサーバ更新事業				
目的及び事業内容		導入から7年が経過したホームページサーバの入れ替えを行い、安定したホームページの運用を確立する。						
取 組 実 績		<p>市のホームページの情報管理を独自のサーバから、インターネット上で保存し、利用するクラウドサービスに変更し、情報管理の負担軽減やデータ保管容量の削減を図った。</p> <p>また、ホームページ作成ソフトを一新し、ホームページのリニューアルを図り、総務省が目標とするウェブアクセシビリティ（誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できるようにすること）に準拠したホームページ作りに取り組んだ。</p>						
成 果		ホームページソフトを一新したことにより、使用しているソフトのバージョンアップにも対応することができた。 また、サーバを更新したことで、劣化したサーバ内のデータの破損を防止できた。 なお、ウェブアクセシビリティに準拠したホームページの作成により、高齢者や障害者を含む誰もが利用できるようになった。						
成果に係る評価		ハードウェア障害から解消され安定した閲覧が可能となった。 また、利用に不慣れな人々を含めて、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できるようになった。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	15,000,000		8,345,610		8,345,000			610

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	7 目	地域振興費		(2)	創造力を育てる多様な環境をつくる		()	
実施計画掲載ページ	P30		小 事業	地域活性化関係費				
事業コード	02030201		事業名	石巻専修大学地域連携事業助成事業				
目的及び事業内容	石巻専修大学が取り組む地域連携活動及び教育研究活動事業を支援することで、地域の産業、文化、その他東日本大震災からの復旧・復興を含む諸領域の課題について研究を推進し、地域の発展と大学の研究活動の強化を図る。 当該事業として、石巻専修大学ではサテライトキャンパス、地域課題に対する問題解決型の研究プロジェクトなどを実施する。							
取組実績	<p>1 サテライトキャンパス</p> <p>サテライトキャンパスとして、蛇田地区等で下記内容の講座等の事業を実施した。</p> <p>(1) I S U 健康支援プログラムの石巻地域への展開</p> <p>(2) 被災地復興応援「詩」募集プロジェクト 応募総数126点：ゴールド賞3点、シルバー賞7点、ブロンズ賞11点、特別賞6点</p> <p>(3) 遊びを通して地域がつながる ～こどもの遊び場づくりと地域づくり 全6回プレイパーク開催</p> <p>(4) エンジョイ・スーパーサイエンス 好文館高校1年生200名、2年生194名参加</p> <p>2 研究プロジェクト</p> <p>東日本大震災に関連した地域の産業、経済その他の諸領域の課題について、下記のとおり研究を実施した。(全9研究)</p> <p>(1) 災害時のエネルギー源としての水素燃料電池の試験運用</p> <p>(2) 放射能の長期モニタリングに適した生物の検討</p> <p>(3) 震災からの石巻地域における企業再生実態調査 -電子書籍による次世代への提言-</p> <p>(4) 小型船舶の停船時横ゆれ防止装置の開発</p> <p>(5) 東日本大震災で被災した企業の事業継続策に関する産学金連携による実証的研究</p> <p>(6) 大学間および地域間交流を目指したワンセグ用番組制作プログラムの開発</p> <p>(7) 大型客船寄港による歓迎イベントの企画・運営及び地域への経済波及効果の測定</p> <p>(8) 有用海産微細藻類を用いた大量培養の効率化に関する研究</p> <p>(9) ニホンジカの牡鹿半島系北上ルートと五葉山系南下ルートの解明</p>							
成 果	<p>1 サテライトキャンパス</p> <p>東日本大震災に関連し直面した課題に対し、地域、大学、復興活動関係者により、被災地復興応援「詩」募集プロジェクトの開催や遊ぶ場を確保されていない仮設住宅に住む子供たちのために、石巻全域の子供を対象にプレイパークの開催をすることで地域における復興活動に貢献した。</p> <p>2 研究プロジェクト</p> <p>石巻専修大学共創研究センターによる地域研究活動を通じて、産業・経済その他諸領域の地域の持続的発展並びに石巻専修大学の研究活動の強化に寄与し、主に東日本大震災関連の諸課題の解決に向けたシンクタンク機能が発揮された。</p>							
成果に係る評価	サテライトキャンパスを実施したことで、復興に携わる市民がプレイパーク等に参加したことにより実践的な活動の場を提供され現状を見つめることで復興活動に関する諸課題解決に大きな役割を果たしたので、事業を継続する必要がある。 また、石巻専修大学共創研究センターでの研究活動を推進することで、市及び大学がさまざまな地域課題に対する問題意識を共有する手助けとなり、官学間のさらなる連携強化を考える上で大きな役割を果たしたので、事業を継続する必要がある。 なお、平成25年3月に「共創研究センター発表会」を開催し、研究成果を発表した。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	10,000,000	10,000,000				10,000,000		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()	
	7 目	地域振興費		(2)	市民参加を促進する		()	
実施計画掲載ページ	P14		小 事業	地域まちづくり委員関係費				
事業コード	01020201		事業名	地域まちづくり委員会事業				
目的及び事業内容	地域の活性化や地域の均衡ある発展を図るため、地域住民と行政が協働し、地域づくりを進められる仕組みとして、旧町単位に設置し、まちづくりの推進や提言を行うことを目的とする。							
取組実績	<p>震災後、委員会設置が可能な地域から活動が開始された。</p> <p>1 河南地域まちづくり委員会 (4回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会の今後の進め方について ・東日本大震災慰霊碑建立事業について ・河南地域の現状と課題について ・アンケート結果における現状分析並びに課題解決のための具体的取組み案及び基本的方針案の検討 <p>2 北上地域まちづくり委員会 (4回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災後の北上地域における復興の在り方について ・震災後のまちづくり(地域の再生)について ・地域課題の要望について ・従前地ヒアリング調査について ・北上全体構想マップと集落構想マップについて ・まちづくり委員会と集落毎ワークショップの仕組み・役割について ・「北上の未来をつくろう」ワークショップのまとめ発表 ・北上地域の中心的なまちづくりについて 							
成 果	河南及び北上地域まちづくり委員会において、東日本大震災以降の地域課題の分析や復興のためのまちづくりについて、話し合いを行った。							
成果に係る評価	河南及び北上地域まちづくり委員会において、地域の現状や課題の共有化と地域の活性化について、活発な議論や意見交換を行うことができた。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	1,431,000	1,194,851				1,194,851		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																																																																			
	1 項	総務管理費		第 1 節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる		()																																																																			
	7 目	地域振興費		(1)	個性ある地域をつくる		()																																																																			
実施計画掲載ページ		P91	小 事業	地域づくり事業費																																																																						
事業コード		06010102	事業名	地域づくり基金事業																																																																						
目的及び事業内容		市民が行政と協働のまちづくりにより実施する事業や市全域のまちづくりのために地域コミュニティ活性化を図る事業に対し、助成金を交付し支援する。																																																																								
取組実績		1 新規助成団体数 6団体 (本庁分5件、雄勝1件) 2 継続助成団体数 9団体 (本庁分3件、河北1件、河南2件、桃生2件、北上1件) 計 助成団体数 15団体 (本庁分8件、河北1件、雄勝1件、河南2件、桃生2件、北上1件)																																																																								
成 果		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>団体名</th> <th>決算額</th> <th></th> <th>団体名</th> <th>決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>特定非営利活動法人 障がいと共に歩む会</td> <td>244,000円</td> <td>11</td> <td>ふれあい会</td> <td>171,000円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>石巻ふるさと復興協議会</td> <td>300,000円</td> <td>12</td> <td>河南鹿嶋ばやし保存会</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>特定非営利活動法人 石巻スポーツ振興センター</td> <td>126,000円</td> <td>13</td> <td>河南桃生商工会青年部</td> <td>189,000円</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>石巻まちづくりギルド</td> <td>243,000円</td> <td>14</td> <td>水と緑の環境フォーラム・ものう</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>旭町町内会恒心会</td> <td>210,000円</td> <td>15</td> <td>新古里村ほたる会</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>子どものための石巻市民会議</td> <td>300,000円</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>日印文化交流『まるごとインドin石巻』実行委員会</td> <td>300,000円</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>特定非営利活動法人 ベビースマイル石巻</td> <td>300,000円</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>河北まちづくり研究会 「なつかしの町・飯野川」</td> <td>247,000円</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>おがつ店こ屋共栄会</td> <td>199,000円</td> <td>実施事業 15件</td> <td>合計</td> <td>3,729,000円</td> </tr> </tbody> </table>								団体名	決算額		団体名	決算額	1	特定非営利活動法人 障がいと共に歩む会	244,000円	11	ふれあい会	171,000円	2	石巻ふるさと復興協議会	300,000円	12	河南鹿嶋ばやし保存会	300,000円	3	特定非営利活動法人 石巻スポーツ振興センター	126,000円	13	河南桃生商工会青年部	189,000円	4	石巻まちづくりギルド	243,000円	14	水と緑の環境フォーラム・ものう	300,000円	5	旭町町内会恒心会	210,000円	15	新古里村ほたる会	300,000円	6	子どものための石巻市民会議	300,000円				7	日印文化交流『まるごとインドin石巻』実行委員会	300,000円				8	特定非営利活動法人 ベビースマイル石巻	300,000円				9	河北まちづくり研究会 「なつかしの町・飯野川」	247,000円				10	おがつ店こ屋共栄会	199,000円	実施事業 15件	合計	3,729,000円
	団体名	決算額		団体名	決算額																																																																					
1	特定非営利活動法人 障がいと共に歩む会	244,000円	11	ふれあい会	171,000円																																																																					
2	石巻ふるさと復興協議会	300,000円	12	河南鹿嶋ばやし保存会	300,000円																																																																					
3	特定非営利活動法人 石巻スポーツ振興センター	126,000円	13	河南桃生商工会青年部	189,000円																																																																					
4	石巻まちづくりギルド	243,000円	14	水と緑の環境フォーラム・ものう	300,000円																																																																					
5	旭町町内会恒心会	210,000円	15	新古里村ほたる会	300,000円																																																																					
6	子どものための石巻市民会議	300,000円																																																																								
7	日印文化交流『まるごとインドin石巻』実行委員会	300,000円																																																																								
8	特定非営利活動法人 ベビースマイル石巻	300,000円																																																																								
9	河北まちづくり研究会 「なつかしの町・飯野川」	247,000円																																																																								
10	おがつ店こ屋共栄会	199,000円	実施事業 15件	合計	3,729,000円																																																																					
成果に係る評価		申請件数15件のうち、公開プレゼンテーションによる市民審査により15件の事業が交付決定されて事業が実施されたことにより、市民による一体感の醸成と、地域コミュニティの活性化や協働のまちづくりを推進することができた。																																																																								
(単位：円)																																																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																				
	4,000,000	3,729,000				3,729,000																																																																				

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																
	8 目	離島振興費		(2)	離島の交通手段を確保する		()																
実施計画掲載ページ		P96	小 事業	離島振興対策費																			
事業コード		06040201	事業名	離島航路維持事業																			
目的及び事業内容		島と本土をつなぐ離島住民の生活を支える重要な生活基盤として、離島航路の安定した運航に努める。航路事業者が安定した運航を行えるように支援するとともに運転資金の貸付を実施する。島民の夜間における救急患者の搬送を行うための、船舶の待機に対する支援を実施する。																					
取組実績		1 国、県補助金の安定確保 県内の離島を有する4市町で構成する宮城県離島振興協議会により宮城県知事等に離島航路補助制度の維持及び拡充について要望を行った。 2 離島航路事業経営安定資金貸付の実施 航路事業者が当該事業上必要とする資金の融通を円滑にすることにより、その経営の安定に資するため、事業資金の貸付を実施した。 3 田代島緊急医療対策補助金の交付 夜間における救急患者の搬送を行うための船舶及び船員の待機に対する支援を行った。 4 離島住民運賃割引の実施に対する補助金の交付 島民に対する運賃割引実施に伴う運賃収入欠損分について支援を行った。																					
成 果		航路確保の施策等を講じたことで、安定した航路の運航が図られた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間運航回数</td> <td>3,736回</td> <td>4,949回</td> <td>2,817回</td> <td>3,724回</td> </tr> <tr> <td>年間乗客数</td> <td>73,144人</td> <td>77,696人</td> <td>35,639人</td> <td>41,158人</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H21	H22	H23	H24	年間運航回数	3,736回	4,949回	2,817回	3,724回	年間乗客数	73,144人	77,696人	35,639人	41,158人
主な指標項目	H21	H22	H23	H24																			
年間運航回数	3,736回	4,949回	2,817回	3,724回																			
年間乗客数	73,144人	77,696人	35,639人	41,158人																			
成果に係る評価		東日本大震災により、離島航路発着所等が被災し、平成23年3月24日から1日1便の暫定ダイヤでの運航が再開されるまで運休を余儀なくされた。平成24年1月20日に係留施設等の仮復旧が行われ、ようやく本来の便数に復旧した。観光施設等も被災しているため、震災前と比較して利用者数は大幅な減となっているが、平成24年9月より離島住民運賃割引を実施し、少しずつではあるが年間乗客数も回復してきている。離島航路事業は、離島住民の生活を支える重要な生活基盤であり、安定維持が必要であることから、今後も、島民、事業者、行政の三者で更なる経営改善と利用促進に努めていく。																					
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	76,131,000	66,330,095	8,764,770		51,000,000	6,565,325																	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																																																	
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																																																	
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()																																																	
実施計画掲載ページ		P95	小 事業	地域交通対策関係費																																																				
事業コード		06040101	事業名	広域バス運行維持対策補助事業																																																				
目的及び事業内容		自家用車等の移動手段を持たない市民の通院、通学、買い物等の交通手段を確保するため、市内各エリアを結ぶ幹線バス路線及びエリア内を運行するバス路線の運行主体に対し、運行費を補助する。また、国庫補助対象路線については、国と協調補助を行う。																																																						
取組実績		市内各エリアを結ぶ幹線バス路線及びエリア内を運行するバス路線の運行主体に対して運行費を補助した。 平成24年度路線別補助の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>系統数</th> <th>補助の別</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女川線</td> <td>1</td> <td>国庫補助路線</td> <td>281,000円</td> </tr> <tr> <td>鮎川線</td> <td>1</td> <td>国庫補助路線</td> <td>315,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻専修大学線</td> <td>2</td> <td>国庫補助路線、市単独補助路線</td> <td>5,388,442円</td> </tr> <tr> <td>石巻免許センター線</td> <td>1</td> <td>国庫補助路線</td> <td>97,448円</td> </tr> <tr> <td>三陸線</td> <td>1</td> <td>国庫補助路線</td> <td>6,278,397円</td> </tr> <tr> <td>河南線</td> <td>2</td> <td>国庫補助路線、自主運行路線</td> <td>5,476,344円</td> </tr> <tr> <td>石巻市内線</td> <td>1</td> <td>市単独補助路線</td> <td>4,443,000円</td> </tr> <tr> <td>日赤・渡波線</td> <td>3</td> <td>市単独補助路線、自主運行路線</td> <td>1,817,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻中里循環線</td> <td>1</td> <td>市単独補助路線</td> <td>5,362,000円</td> </tr> <tr> <td>渡波線</td> <td>1</td> <td>市単独補助路線</td> <td>3,481,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>32,939,631円</td> </tr> </tbody> </table>							路線名	系統数	補助の別	補助金額	女川線	1	国庫補助路線	281,000円	鮎川線	1	国庫補助路線	315,000円	石巻専修大学線	2	国庫補助路線、市単独補助路線	5,388,442円	石巻免許センター線	1	国庫補助路線	97,448円	三陸線	1	国庫補助路線	6,278,397円	河南線	2	国庫補助路線、自主運行路線	5,476,344円	石巻市内線	1	市単独補助路線	4,443,000円	日赤・渡波線	3	市単独補助路線、自主運行路線	1,817,000円	石巻中里循環線	1	市単独補助路線	5,362,000円	渡波線	1	市単独補助路線	3,481,000円	合計			32,939,631円
路線名	系統数	補助の別	補助金額																																																					
女川線	1	国庫補助路線	281,000円																																																					
鮎川線	1	国庫補助路線	315,000円																																																					
石巻専修大学線	2	国庫補助路線、市単独補助路線	5,388,442円																																																					
石巻免許センター線	1	国庫補助路線	97,448円																																																					
三陸線	1	国庫補助路線	6,278,397円																																																					
河南線	2	国庫補助路線、自主運行路線	5,476,344円																																																					
石巻市内線	1	市単独補助路線	4,443,000円																																																					
日赤・渡波線	3	市単独補助路線、自主運行路線	1,817,000円																																																					
石巻中里循環線	1	市単独補助路線	5,362,000円																																																					
渡波線	1	市単独補助路線	3,481,000円																																																					
合計			32,939,631円																																																					
成果		路線バスの運行主体に運行費を補助することにより、安定した路線バスの運行が可能となり、高齢者等の交通手段が確保された。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線数</td> <td>10路線15系統</td> <td>10路線15系統</td> <td>10路線14系統</td> </tr> <tr> <td>うち国庫補助対象路線数</td> <td>5路線6系統</td> <td>6路線7系統</td> <td>6路線6系統</td> </tr> </tbody> </table>							年度	H22	H23	H24	路線数	10路線15系統	10路線15系統	10路線14系統	うち国庫補助対象路線数	5路線6系統	6路線7系統	6路線6系統																																				
年度	H22	H23	H24																																																					
路線数	10路線15系統	10路線15系統	10路線14系統																																																					
うち国庫補助対象路線数	5路線6系統	6路線7系統	6路線6系統																																																					
成果に係る評価		震災の影響による居住エリアの変化、仮設住宅団地建設などの要因により、各路線で乗車率が増減しているが、いずれの路線も地域にとって欠かせない路線であり、バス路線維持のための補助事業として適切に実施された。 「地域の足」である路線バス運行を維持していくためには、行政の支援が欠かせないが、限りある財源の中で、より工夫し、乗車率を向上するため、バス運行事業者へ乗車率向上に向けた提言や市民に対する情報提供を実施していく必要がある。																																																						
(単位：円)																																																								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																	
		34,940,000	32,939,631				32,939,631																																																	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																																																												
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																																																												
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()																																																												
実施計画掲載ページ		P95	小 事業	地域交通対策関係費																																																															
事業コード		06040103	事業名	住民バス運行費補助事業																																																															
目的及び事業内容		高齢化の進行やバス路線の廃止に対応し、移動手段を持たない高齢者等が、住み慣れた地域で日常生活上の外出・移動を可能な限り行えるよう、地域住民の代表者が運営主体となって運行する住民バス及び乗合タクシーの運行事業に対して運行費を補助し、支援を行う。																																																																	
取組実績		市民の移動手段を確保するため、市内9地区の住民バス及び乗合タクシー事業の運行主体である運行協議会に対し運行費を補助した。 平成24年度運行協議会別補助の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>運行主体</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>河北地区住民バス運行協議会</td> <td>4,595,591円</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>雄勝地区運行協議会</td> <td>17,292,794円</td> </tr> <tr> <td>河南地区乗合タクシー</td> <td>河南地区運行協議会</td> <td>6,959,142円</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス</td> <td>桃生地区運行協議会</td> <td>10,542,353円</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>北上地区住民バス等運行協議会</td> <td>6,992,369円</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>稲井地域乗合タクシー運行協議会</td> <td>5,668,303円</td> </tr> <tr> <td>荻浜地区住民バス</td> <td>荻浜地区住民バス運行協議会</td> <td>5,205,340円</td> </tr> <tr> <td>山の手地区乗合タクシー</td> <td>山の手地区乗合タクシー運行協議会</td> <td>4,075,789円</td> </tr> <tr> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー</td> <td>水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会</td> <td>1,906,410円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>63,238,091円</td> </tr> </tbody> </table>							名称	運行主体	補助金額	河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	4,595,591円	雄勝地区住民バス	雄勝地区運行協議会	17,292,794円	河南地区乗合タクシー	河南地区運行協議会	6,959,142円	桃生地区住民バス	桃生地区運行協議会	10,542,353円	北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	6,992,369円	稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	5,668,303円	荻浜地区住民バス	荻浜地区住民バス運行協議会	5,205,340円	山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	4,075,789円	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会	1,906,410円	合計		63,238,091円																										
名称	運行主体	補助金額																																																																	
河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	4,595,591円																																																																	
雄勝地区住民バス	雄勝地区運行協議会	17,292,794円																																																																	
河南地区乗合タクシー	河南地区運行協議会	6,959,142円																																																																	
桃生地区住民バス	桃生地区運行協議会	10,542,353円																																																																	
北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	6,992,369円																																																																	
稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	5,668,303円																																																																	
荻浜地区住民バス	荻浜地区住民バス運行協議会	5,205,340円																																																																	
山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	4,075,789円																																																																	
水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会	1,906,410円																																																																	
合計		63,238,091円																																																																	
成果		運行費の補助により、住民バス及び乗合タクシーが安定して運行され、高齢者をはじめとする地域住民の移動手段が確保された。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">H23</th> <th colspan="2">H24</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>3,459人</td> <td>1,342便</td> <td>5,227人</td> <td>1,643便</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>5,643人</td> <td>8,024便</td> <td>9,006人</td> <td>8,784便</td> </tr> <tr> <td>河南地区乗合タクシー</td> <td>2,856人</td> <td>1,947便</td> <td>4,949人</td> <td>3,160便</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス</td> <td>3,230人</td> <td>2,248便</td> <td>3,531人</td> <td>2,312便</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>7,907人</td> <td>1,119便</td> <td>8,666人</td> <td>1,452便</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>12,851人</td> <td>4,446便</td> <td>12,372人</td> <td>4,400便</td> </tr> <tr> <td>荻浜地区住民バス</td> <td>4,915人</td> <td>1,144便</td> <td>6,476人</td> <td>1,456便</td> </tr> <tr> <td>山の手地区乗合タクシー</td> <td>3,445人</td> <td>2,281便</td> <td>9,401人</td> <td>5,542便</td> </tr> <tr> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3,210人</td> <td>2,262便</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>44,306人</td> <td>22,551便</td> <td>62,838人</td> <td>31,011便</td> </tr> </tbody> </table> ※水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシーは平成24年6月1日より運行再開							名称	H23		H24		利用者数	便数	利用者数	便数	河北地区住民バス	3,459人	1,342便	5,227人	1,643便	雄勝地区住民バス	5,643人	8,024便	9,006人	8,784便	河南地区乗合タクシー	2,856人	1,947便	4,949人	3,160便	桃生地区住民バス	3,230人	2,248便	3,531人	2,312便	北上地区住民バス	7,907人	1,119便	8,666人	1,452便	稲井地域乗合タクシー	12,851人	4,446便	12,372人	4,400便	荻浜地区住民バス	4,915人	1,144便	6,476人	1,456便	山の手地区乗合タクシー	3,445人	2,281便	9,401人	5,542便	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	—	—	3,210人	2,262便	合計	44,306人	22,551便	62,838人	31,011便
名称	H23		H24																																																																
	利用者数	便数	利用者数	便数																																																															
河北地区住民バス	3,459人	1,342便	5,227人	1,643便																																																															
雄勝地区住民バス	5,643人	8,024便	9,006人	8,784便																																																															
河南地区乗合タクシー	2,856人	1,947便	4,949人	3,160便																																																															
桃生地区住民バス	3,230人	2,248便	3,531人	2,312便																																																															
北上地区住民バス	7,907人	1,119便	8,666人	1,452便																																																															
稲井地域乗合タクシー	12,851人	4,446便	12,372人	4,400便																																																															
荻浜地区住民バス	4,915人	1,144便	6,476人	1,456便																																																															
山の手地区乗合タクシー	3,445人	2,281便	9,401人	5,542便																																																															
水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	—	—	3,210人	2,262便																																																															
合計	44,306人	22,551便	62,838人	31,011便																																																															
成果に係る評価		住民バス及び乗合タクシーの運行により、移動手段を持たない高齢者等地域住民の足が確保され、さらに被災者支援を目的とした低廉な運賃での運行を継続して行うとともに一部路線で路線変更を行い、被災者の負担軽減及び移動手段を確保した。 各路線とも地域住民の足として今後も継続して運行する必要があるが、市民がより利用しやすい公共交通機関とするための情報提供を行い、乗車率の向上に努める。																																																																	
(単位：円)																																																																			
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																															
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																												
		64,880,000	63,238,091	17,115,000		7,235,000	38,888,091																																																												

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																					
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																					
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()																					
実施計画掲載ページ		P95	小 事 業	牡鹿地区市民バス運行事業費																								
事業コード		06040105	事 業 名	牡鹿市民バス運行事業																								
目的及び事業内容		高齢化の進行に対応し、移動手段を持たない高齢者等が住み慣れた地域で日常生活上の外出・移動を可能な限り行えるよう網地島を含めた牡鹿地区で市民バスの運行を実施する。 また、小学生の安全な通学手段を確保するために市民バスの活用を図る。																										
取組実績		<p>下記路線において、市民バスの運行を実施した。</p> <p>運行概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>運行状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄磯～牡鹿総合支所線</td> <td>平日 8便/日 土・日・祝日・年末年始は原則運休</td> </tr> <tr> <td>泊～福祉パーク線</td> <td>平日 7便/日 土・日・祝日・年末年始は原則運休</td> </tr> <tr> <td>新山・泊～大原線</td> <td>平日 5便/日 土・日・祝日・年末年始は原則運休</td> </tr> <tr> <td>網地島線</td> <td>4便/日 年末年始は運休</td> </tr> </tbody> </table>							路線名	運行状況	寄磯～牡鹿総合支所線	平日 8便/日 土・日・祝日・年末年始は原則運休	泊～福祉パーク線	平日 7便/日 土・日・祝日・年末年始は原則運休	新山・泊～大原線	平日 5便/日 土・日・祝日・年末年始は原則運休	網地島線	4便/日 年末年始は運休										
路線名	運行状況																											
寄磯～牡鹿総合支所線	平日 8便/日 土・日・祝日・年末年始は原則運休																											
泊～福祉パーク線	平日 7便/日 土・日・祝日・年末年始は原則運休																											
新山・泊～大原線	平日 5便/日 土・日・祝日・年末年始は原則運休																											
網地島線	4便/日 年末年始は運休																											
成 果		<p>市民バスの運行により、高齢者を中心とした地域住民の移動手段が確保され、日常生活上の外出・移動支援が図られるとともに、小学生の安全な通学手段として活用され、スクールバスとしての機能も発揮できた。</p> <p>市民バス運行実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般利用</td> <td>25,091人</td> <td>20,448人</td> <td>16,452人</td> </tr> <tr> <td>教育目的利用</td> <td>4,644人</td> <td>14,975人</td> <td>14,909人</td> </tr> <tr> <td>利用者数合計</td> <td>29,735人</td> <td>35,423人</td> <td>31,361人</td> </tr> <tr> <td>運行便数</td> <td>7,056便</td> <td>4,618便</td> <td>6,417便</td> </tr> </tbody> </table>								H22	H23	H24	一般利用	25,091人	20,448人	16,452人	教育目的利用	4,644人	14,975人	14,909人	利用者数合計	29,735人	35,423人	31,361人	運行便数	7,056便	4,618便	6,417便
	H22	H23	H24																									
一般利用	25,091人	20,448人	16,452人																									
教育目的利用	4,644人	14,975人	14,909人																									
利用者数合計	29,735人	35,423人	31,361人																									
運行便数	7,056便	4,618便	6,417便																									
成果に係る評価		<p>人口の減少と相まって、一般利用者は減少傾向にあるものの、運行便数の確保や路線バス・離島航路とのスムーズな接続により、小学生や離島からの通院者を含む利用者の交通手段の確保が図られ、福祉の増進及び生活環境の向上に寄与できた。</p> <p>また、平成23年度に引き続き、乗車区間に関わらず運賃を一律100円としたことにより、被災者の負担軽減が図られ、生活支援に貢献できた。さらに震災前までは徒歩通学だった地区の小学生についても、通学利用に係る運賃の無料化を継続することにより、スクールバス的な利用を促進し、復興工事車両等の増加に対する通学時の安全確保に成果を上げた。</p>																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	27,396,000	26,850,928	253,000		1,478,470	25,119,458																						

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()													
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()													
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()													
実施計画掲載ページ		P96	小 事 業	牡鹿地区市民バス運行事業費																
事業コード		06040106	事 業 名	牡鹿地区市民バス運行車両更新事業																
目的及び事業内容		牡鹿地区市民バスとして使用しているすべての車両が平成14年の購入から10年以上経過し、走行距離は各車とも55万キロを超え、近年は故障が頻発するとともに東日本大震災の影響による道路状況の悪化により、車両の傷みが激しいことから、車両を計画的に更新し、市民バスの安定した運行を図っていく。																		
取組実績		運行車両4台中、3台を更新した。残る1台についても平成25年度中に更新予定																		
成 果		<p>市民バスの車両を更新することにより、利用者に対し安全で安定した運行を提供することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>車両概要</th> <th>台数</th> <th>購入金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26人乗りマイクロバス</td> <td>2台</td> <td>15,889,650円</td> </tr> <tr> <td>14人乗りワゴン車</td> <td>1台</td> <td>3,199,980円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>19,089,630円</td> </tr> </tbody> </table>							車両概要	台数	購入金額	26人乗りマイクロバス	2台	15,889,650円	14人乗りワゴン車	1台	3,199,980円	合 計		19,089,630円
車両概要	台数	購入金額																		
26人乗りマイクロバス	2台	15,889,650円																		
14人乗りワゴン車	1台	3,199,980円																		
合 計		19,089,630円																		
成果に係る評価		<p>車両の更新により、安全で安定した運行が可能となり、高齢者の買い物や通院、小学生の通学の足としてより利便性を高めることができた。</p> <p>平成25年度においても残る1台を更新し、牡鹿地区市民バスの安定した運行を支えていく。</p>																		
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	19,090,000	19,089,630		17,400,000		1,689,630														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																			
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()																			
	10 目	男女共同参画推進費		(3)	男女共同参画社会を構築する		()																			
実施計画掲載ページ		P14	小 事業	男女共同参画推進費																						
事業コード		01020301	事業名	男女共同参画推進事業																						
目的及び事業内容		男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」の実現のため、石巻市男女共同参画基本計画（第2次）の進行管理、男女共同参画啓発講演会やイベント、女性人材育成事業、男女共同参画啓発広報事業等を実施する。																								
取組実績		<p>1 石巻市男女共同参画基本計画（第2次計画期間：H23～H28）の進行管理を行った。</p> <p>2 男女共同参画啓発講演会・イベントの開催</p> <p>(1) 男女共同参画社会の啓発に向け、下記講演会・セミナーを開催した。</p> <p>ア 高校生及び保護者を対象とするDV防止講演会 （平成24年6月25日（月）：市立女子高、7月9日（月）：市立女子商）</p> <p>イ 男女共創セミナー （平成24年11月23日（金：祝）：河北総合センター）</p> <p>ウ 市職員研修 （平成25年2月14日（木）：市庁舎4階庁議室）</p> <p>3 女性人材育成事業の実施</p> <p>(1) 女性が地域のリーダーとして活躍できるよう「女性人材育成セミナー」を開催した。 平成24年7月11日（水）～9月26日（水）（全6回：石巻消防本部2階大会議室）</p> <p>4 男女共同参画啓発広報事業の実施</p> <p>(1) 男女共同参画週間に啓発事業を実施した。 （DV相談窓口PR、男女共同参画週間PRパネル展、図書館における関連書籍の展示）</p> <p>(2) 女性に対する暴力をなくす運動期間に啓発事業を実施した。 （DV相談窓口PR、DV防止啓発パネル展）</p> <p>(3) 成人式参加者にデートDV防止啓発リーフレットを配布した。（対象者数1,507名）</p> <p>(4) 市報掲載及びHPによる啓発を実施。</p> <p>(5) 市職員向け啓発チラシ「ともに」の発行。（年1回）</p> <p>5 女性のための面接相談を毎月第1・3水曜日に実施した。</p>																								
成果		<p>女性人材育成事業の修了者を女性人材リストへ搭載することにより、人材リストの充実を図り、リストの活用を促し、審議会等への女性委員の割合増加を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標：審議会等の女性委員の割合</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>35.0%</td> <td>24.6%</td> <td>70.3%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>40.0%</td> <td>23.8%</td> <td>59.5%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>40.0%</td> <td>24.3%</td> <td>60.8%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標：審議会等の女性委員の割合		達成率等	目標値	実績等	H22	35.0%	24.6%	70.3%	H23	40.0%	23.8%	59.5%	H24	40.0%	24.3%	60.8%
区分	成果指標：審議会等の女性委員の割合		達成率等																							
	目標値	実績等																								
H22	35.0%	24.6%	70.3%																							
H23	40.0%	23.8%	59.5%																							
H24	40.0%	24.3%	60.8%																							
成果に係る評価		<p>男女共同参画を推進するための各種啓発事業、情報収集及び情報提供を実施したことにより、男女共同参画社会の実現に向けての市民意識の高揚及び女性の社会参画の促進が図られた。</p> <p>また、近年増加傾向にあるDV被害を抑えるためには、青少年期からの継続的な啓発が必要であることから、これまでの講演会等の事業に加え、成人式でのリーフレット配布を実施したことにより若い世代への予防啓発が図られた。</p> <p>男女共同参画の実現のためには、意識啓発活動の継続が必要であることから、石巻市男女共同参画基本計画（第2次）に基づき、効果的な事業運営と適切な進行管理に努める。</p>																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	1,090,000	1,039,187	426,000			613,187																				

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	11 目	国際交流費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ		P29	小 事業	国際交流推進費				
事業コード		02030103	事業名	温州市との友好都市交流事業				
目的及び事業内容		日中両国政府の共同声明の原則と日中平和友好条約の精神に基づき、石巻市民と温州市民間の友好往來の増進と相互協力を求めるとともに、両市間の経済、文化、教育など幅広い分野において交流を行い、両市の繁栄と友好協力を促進する。						
取組実績		<p>友好都市である中国浙江省温州市との長年の友好交流に対し、中国四川省成都市で開催される「2012中国国際友好都市大会」で表彰されることが決定したため、温州市との友好都市交流の経過や今後の交流促進のためにも、同大会へ参加し交流を行った。</p> <p>事業内容</p> <p>1 日 程 平成24年9月10日（月）～14日（金）4泊5日 ※大会は9/12、9/13の2日間</p> <p>2 訪問地 中華人民共和国四川省成都市</p> <p>3 主 催 中国人民対外友好協会</p> <p>4 内 容 2012中国国際友好都市大会にて「対中友好都市交流合作賞」を受賞した。</p> <p>中国と各国の都市交流促進を図るため、中国及び海外の都市代表によるテーマに沿った意見発表や意見討論会が行われた。</p> <p>大会では、中国各省・都市と友好交流を行っている海外各国の自治体表彰が行われた。</p>						
成果		温州市政府代表团と今後の友好関係継続を確認することができ、大会主催の歓迎パーティでは、広く交流を深めることができた。また、中国人民と世界各国の人々との間の理解と友情を深め、相互間の経済、社会、文化、芸術、教育などの交流や協力を促すことができた。						
成果に係る評価		長きに渡る温州市との交流が評価されたことは、今後予定されている「友好都市締結30周年記念事業」の実施及び、温州市に対する友好親善の発展を期待することができる。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	610,549	610,549				610,549		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	11 目	国際交流費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ	P30		小 事 業	国際交流推進費				
事業コード	02030111		事 業 名	イタリア チビタベッキアとの姉妹都市交流事業				
目的及び事業内容	支倉常長がイタリアに上陸した偉業を後世に伝えるとともに、両国の交流を深めながら国際的な人材の育成と姉妹都市交流を図る。チビタベッキア市とは、姉妹都市として青少年交流や文化交流、市民団体同士の交流も行っていましたが、本市の市町村合併という事情から交流が途絶えていた。しかし、新たに姉妹都市締結を行うことで、両市の交流を再開させ、地域の国際化を進展させることができる。							
取組実績	<p>慶長遣欧使節出帆400年にあたる2013年に、姉妹都市締結のイベントを開催することとし、2012年をその準備期間とするため、チビタベッキア市側と調整を図ってきた。</p> <p>姉妹都市締結盟約書の内容、慶長遣欧使節出帆400年に併せての姉妹都市締結記念事業、今後の交流事業について協議を行うため、事前の事務レベル訪問団を派遣した。</p> <p>事業内容</p> <p>1 日 程 平成25年1月21日(月)～28日(月) 7泊8日</p> <p>2 訪問地 イタリア共和国ラツィオ州ローマ県チビタベッキア市</p> <p>3 内 容 チビタベッキア市との姉妹都市締結に向けての事務協議、及び今後の交流計画策定に向けた主要産業施設の視察や関係者との意見交換などを行った。</p>							
成 果	石巻市事務レベル訪問団をチビタベッキア市に派遣し、姉妹都市締結について協議を行ったところ合意がなされたことから、2013年中に姉妹都市締結盟約書への調印を行う覚書を締結することができた。							
成果に係る評価	姉妹都市として交流を図ることで両市間の絆を強めることができる。また、他地域との絆を大切にしたい交流を行っていくことは、新たな視点を持った人材の育成として、両市の地域づくりへと繋がっていく。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	2,183,387	2,183,387			2,183,387			

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり									
	1 項	総務管理費		第 節	(2)	地域のかでみんなで守る									
	11 目	国際交流費		()	(1)	地域コミュニティの再生支援									
実施計画掲載ページ	P113		小 事 業	国際交流推進費（緊急総合経済対策費）											
事業コード	10-201-004-026		事 業 名	外国人相談窓口開設事業〔住民生活〕											
目的及び事業内容	石巻市に暮らす外国人のための相談窓口を設置し、市政の情報提供、専門相談機関の紹介等を行い、外国人も安心して暮らせるまちづくりの推進を図る。 中国語、韓国語、英語、タガログ語の4カ国語対応の外国人相談窓口を毎週、定期的に開設している。														
取組実績	外国人相談窓口を開設した。 【開設状況】 火曜：中国語 水曜：英語・タガログ語 金曜：韓国語 ※各曜日1名の外国人通訳が対応														
成 果	相談窓口の設置により、外国人住民に対する情報提供、相談への対応ができ、外国人も安心して暮らせるまちづくりの推進が図られた。 【相談状況】														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	H24	4人	2人	3人	3人		1人	1人	3人	3人	4人	2人	2人	28人	
		【内容】 ・行政手続き（外国人登録、納税、国民健康保険、子育て、教育関係、各種証明書の申請など） ・災害に係る手続き ・生活に係る悩み（DV等）相談 ・各種情報提供													
成果に係る評価	通常の行政手続きに加え、災害関係の手續（り災証明書の申請時の通訳など）のサポートを実施し、また、メンタル相談・生活面での相談などがあつた際には各種専門相談機関へ繋ぐなどの対応を行った。 震災の影響によるメンタル的な相談はそれほど件数もなく、生活支援的な相談が多いが、震災から2～3年が経過するなかで、潜在的な悩みが今後表面化する危険性もあることから、今後も関係機関・部署と連携を図りながら対応していくこととする。														
(単位：円)															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源									
	713,000	618,750			618,750										

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域のでみんなで守る
	11 目	国際交流費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ	P 113		小 事 業	国際交流推進費			
事業コード	10-201-004-027		事 業 名	日本語教室等開設事業			
目的及び事業内容	市内に居住する外国人住民が安心して暮らしやすい地域にするため、言葉の壁によるコミュニケーション不足の解消を図るため日本語学習の支援として、日本語教室を開催する団体に補助金を交付する。						
取組実績	○外国人のための日本語支援教室補助金交付 ・対象となる事業内容 日本語支援教室、生活マニュアル講座、外国人向け研修会など						
成 果	団体への補助により、市の直営ではできないきめ細やかな日本語学習支援が実施され、市内に居住する外国人住民が安心して暮らしやすい地域づくりの推進が図られた。						
		学習者数	出身国数				
	H24	38人	13カ国				
	H23	29人	9カ国				
成果に係る評価	石巻市内には震災後も500人を超える外国人が居住しており、滞在目的は研修、技術、留学、日本人の配偶者、永住者と多岐にわたる。外国人を一時的な滞在だけでなく、将来にわたり、長期に本市で暮らす住民として捉え、彼らが地域で安心して暮らしていけるようになるには日本語学習の支援は不可欠である。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	150,000	150,000				150,000	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 節		()	
	15 目	電子計算費		()		()	
実施計画掲載ページ			小 事 業	電子計算処理費			
事業コード			事 業 名	庁内情報化推進事業			
目的及び事業内容	住民情報システムの安定稼働を図り、事務の効率化及び住民サービスの向上に向けたシステムを構築する。情報系事務端末は、計画的に更新を行い、効率的な情報共有による事務の効率化を図る。						
取組実績	1 住民情報システムの安定稼働維持 住民情報システムの安定稼働を常時監視し、設備機器の修繕及び予防保守に努めた。 2 事務の効率化及び住民サービスの向上に向けたシステム維持 住民情報システムにおける各業務プログラムの制度改正等に伴う新規開発及び改修に努め、事務作業の効率化を図った。 3 情報系端末の安定稼働維持 情報系端末の安定稼働維持のため、各課からの要望に対応し機器の修繕及び予防保守に努めた。						
成 果	住民情報システムの監視の実施により、早期に故障を感知し予防的対応を含め、積極的に対応することにより安定的に稼働することに努めた。併せて、住民情報システムにおける各業務の処理及び制度改正等による業務プログラムの新規開発・改修作業を数多く実施し、事務作業の効率化と住民サービスの向上が図られた。						
	区 分	項 目	H22	H23	H24		
	業務処理	オンライン業務	615件	625件	572件		
		バッチ処理業務	1,562件	1,585件	1,616件		
	プログラム開発等	プログラム新規開発	71件	65件	52件		
		プログラム修正	76件	51件	51件		
成果に係る評価	新住民情報システムの更新について、マイナンバー制度も視野に入れ現行システムをシステム・業務の両面から最適化の視点で見直し効率的な住民情報システムを整備することに着手した。職員用端末機においては、震災の影響により遅延していた機器の更新計画を見直し、故障率の高い機器の更新を優先的に対応した。また、復興支援で増員された派遣職員等の端末機を確保するため、更新した機器を再利用して対応した。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	336,746,000	331,321,576			0	331,321,576	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	()	復興計画	()																																
	1 項	総務管理費		第 節	()		()																																
	16 目	情報プラザ運営費		()	()		()																																
実施計画掲載ページ			小 事業	情報プラザ関係費																																			
事業コード			事業名	情報プラザ運営事業																																			
目的及び事業内容		市民のICT技術の習得を推進・支援し、市民生活の利便性を向上させ、魅力的な地域社会の貢献に寄与する。																																					
取組実績		<p>1 パソコン初心者の施設利用者に対して、積極的にマンツーマン指導、助言を行い一般利用者(市民)がより利用しやすい環境整備を図った。</p> <p>2 NPO団体を活用して、専門家(有資格者)によるパソコンセミナーの開催を実施した。</p> <p>3 市民のインターネット環境の充実のためのプロバイダー業務を推進し、ユーザーに対し適切なサービスの提供を図った。</p> <p>4 放送大学宮城学習センター石巻視聴学習室(再視聴施設)を再開し、生涯学習課と連携しながら再視聴や教材貸出しの受付事務を行った。</p>																																					
成 果		<p>市民が身近にパソコンと触れ合う場として施設・サービスを提供することにより、魅力的な地域社会に貢献し、市民のICT環境の整備が図られた。</p> <p>主な情報プラザ利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PCセミナー等利用者</td> <td>1,036人</td> <td>0人</td> <td>1,309人</td> </tr> <tr> <td>情報プラザ主催事業</td> <td>545人</td> <td>0人</td> <td>695人</td> </tr> <tr> <td>その他主催事業</td> <td>491人</td> <td>0人</td> <td>614人</td> </tr> <tr> <td>インターネット外部接続利用者</td> <td>325人</td> <td>325人</td> <td>238人</td> </tr> <tr> <td>ネットデッキ利用者(インターネット)</td> <td>1,769人</td> <td>0人</td> <td>621人</td> </tr> <tr> <td>放送大学利用者</td> <td>183人</td> <td>0人</td> <td>166人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,313人</td> <td>325人</td> <td>2,334人</td> </tr> </tbody> </table>						区分	H22	H23	H24	PCセミナー等利用者	1,036人	0人	1,309人	情報プラザ主催事業	545人	0人	695人	その他主催事業	491人	0人	614人	インターネット外部接続利用者	325人	325人	238人	ネットデッキ利用者(インターネット)	1,769人	0人	621人	放送大学利用者	183人	0人	166人	合計	3,313人	325人	2,334人
区分	H22	H23	H24																																				
PCセミナー等利用者	1,036人	0人	1,309人																																				
情報プラザ主催事業	545人	0人	695人																																				
その他主催事業	491人	0人	614人																																				
インターネット外部接続利用者	325人	325人	238人																																				
ネットデッキ利用者(インターネット)	1,769人	0人	621人																																				
放送大学利用者	183人	0人	166人																																				
合計	3,313人	325人	2,334人																																				
成果に係る評価		<p>PCセミナーを含めた館内の利用者は平成22年度と比較して増えているが、小学生のDVD鑑賞やお絵かきソフトの利用が増えており、セミナーの利用は増えてはいない。</p> <p>平成23年度は震災により休館したが、平成24年度にインターネット接続利用者が減った原因としては、被災した地域の利用者でインターネット接続を再開した方が少なかったことが挙げられる。</p> <p>ネットデッキの利用者は大きく減っているが、各家庭においてインターネットに接続する環境が増えていることによるものと考えられる。</p> <p>今後も引き続き積極的に周知を幅広く広げることで、利用者の増加に結び付けたい。</p>																																					
(単位:円)																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
	38,372,669	37,834,726			1,704,420	36,130,306																																	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	()	復興計画	()								
	1 項	総務管理費		第 節	()		()								
	25 目	諸費		()	()		()								
実施計画掲載ページ			小 事業	行政推進費											
事業コード			事業名	集会所建設費補助事業											
目的及び事業内容		<p>【目的】市民と行政の協働のまちづくりの推進を図る。</p> <p>【内容】集会所の新築事業、集会所の改築、増築及び改修事業、既存建物を集会所として利用するための取得事業、既存建物を集会所として利用するために要する改装事業、集会所の排水設備の公共下水道等への接続事業などに対する補助</p>													
取組実績		<p>1 集会所の新築事業</p> <p>・女川集会所(北上):建築面積 190.463㎡(木造平屋)</p> <p>所在地:石巻市北上町女川字畑中2-2</p>													
成 果		<p>集会所の建設等に対して支援を行うことにより、地域コミュニティの促進、地域の交流拠点の整備、防災対策における避難場所の整備等、市民と行政の協働のまちづくりの推進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業費</th> <th>補助額</th> <th>補助割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女川集会所(北上)</td> <td>24,378千円</td> <td>14,678千円</td> <td>全額補助のうち繰越分(H23年度9,700千円)</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	事業費	補助額	補助割合	女川集会所(北上)	24,378千円	14,678千円	全額補助のうち繰越分(H23年度9,700千円)
事業名	事業費	補助額	補助割合												
女川集会所(北上)	24,378千円	14,678千円	全額補助のうち繰越分(H23年度9,700千円)												
成果に係る評価		<p>地域コミュニティ活動の拠点である集会所の建設・整備に対しては、市民と行政の協働のまちづくりを推進することから、今後も継続して補助を行っていく必要がある。</p>													
(単位:円)															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源									
	14,678,000	14,678,000		14,400,000		278,000									

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域力でみんなで守る																
	25 目	諸費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援																
実施計画掲載ページ	P112		小 事 業	行政推進費																			
事業コード	10-201-002-023		事 業 名	行政区再構築事業																			
目的及び事業内容	<p>【目的】 住民と行政が互いに役割と責任を果たし、協働でまちづくりを実践することにより、市政の円滑な推進を図る。</p> <p>【内容】 不在行政区における行政委員の配置や、仮設住宅団地のコミュニティの円滑化のための新たな行政区の設置及び行政委員の配置を行う。</p>																						
取組実績	不在行政区における行政委員の配置ほか、仮設住宅団地のコミュニティの円滑化のための新たな行政区の設置 また、50戸以内の仮設住宅については、既存行政区へ編入済み。																						
成 果	<p>行政区の設置及び行政委員の配置により、行政情報を的確に伝達でき、仮設住宅団地内におけるコミュニティ形成と市政の円滑な推進が図られた。</p> <table border="0"> <tr> <td>○仮設行政区設置数 30箇所</td> <td>○行政委員配置数 414人（前年度配置数388人）</td> </tr> <tr> <td>・石巻 13箇所</td> <td>・石巻 239人</td> </tr> <tr> <td>・河北 5箇所</td> <td>・河北 44人</td> </tr> <tr> <td>・雄勝 1箇所</td> <td>・雄勝 13人</td> </tr> <tr> <td>・河南 6箇所</td> <td>・河南 42人</td> </tr> <tr> <td>・桃生 3箇所</td> <td>・桃生 28人</td> </tr> <tr> <td>・北上 1箇所</td> <td>・北上 27人</td> </tr> <tr> <td>・牡鹿 1箇所</td> <td>・牡鹿 21人</td> </tr> </table> <p>○行政区統合再編箇所 6箇所</p> <p>・石巻 1箇所</p> <p>・雄勝 5箇所</p>							○仮設行政区設置数 30箇所	○行政委員配置数 414人（前年度配置数388人）	・石巻 13箇所	・石巻 239人	・河北 5箇所	・河北 44人	・雄勝 1箇所	・雄勝 13人	・河南 6箇所	・河南 42人	・桃生 3箇所	・桃生 28人	・北上 1箇所	・北上 27人	・牡鹿 1箇所	・牡鹿 21人
○仮設行政区設置数 30箇所	○行政委員配置数 414人（前年度配置数388人）																						
・石巻 13箇所	・石巻 239人																						
・河北 5箇所	・河北 44人																						
・雄勝 1箇所	・雄勝 13人																						
・河南 6箇所	・河南 42人																						
・桃生 3箇所	・桃生 28人																						
・北上 1箇所	・北上 27人																						
・牡鹿 1箇所	・牡鹿 21人																						
成果に係る評価	多くの仮設住宅団地が建設されているが、入居世帯数が大きい団地については、既存の行政区に編入が難しい状況にあり、行政と市民の連絡調整や行政情報を的確に伝達するため、今後も行政委員の配置を継続して行っていく必要がある。																						
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	6,195,000	5,859,759				5,859,759																	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	復興計画	()	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																	
	1 項	総務管理費		第 3 節		()	新たな時代を創造する人材を育成する																	
	25 目	諸費		(1)		()	広い視野を持つ人材をはぐくむ																	
実施計画掲載ページ	P29		小 事 業	非核平和都市推進費																				
事業コード	02030109		事 業 名	非核平和推進人材育成事業																				
目的及び事業内容	市の将来を担う中学生が被爆体験者講話を通して、核兵器が人類に及ぼした悲惨な現実と真の平和の尊さを学ぶことにより、恒久平和に貢献できる人材を育成する。																							
取組実績	<p>1 非核平和推進人材育成事業の実施</p> <p>(1) 宮城県原爆被爆者の会事務局長の木村緋紗子氏（8歳の時被爆）を講師に招き、「平和を願って！」～被爆体験者が語る平和の大切さ～をテーマとして、講演会を開催した。 平成25年2月7日（木） 市立河南西中学校 参加者：2年生60名</p>																							
成 果	<p>市の将来を担う中学生が被爆体験者の講話を通して真の平和の尊さを学ぶことにより、非核平和に対する啓発が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標：研修（講和）参加人数</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>7人</td> <td>7人</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td></td> <td>震災のため中止</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>100人</td> <td>66人</td> <td>66%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H22は広島研修の参加人数、H24は被爆体験者の講話参加人数</p>						区分	成果指標：研修（講和）参加人数		達成率等	目標値	実績等	H22	7人	7人	100%	H23		震災のため中止		H24	100人	66人	66%
区分	成果指標：研修（講和）参加人数		達成率等																					
	目標値	実績等																						
H22	7人	7人	100%																					
H23		震災のため中止																						
H24	100人	66人	66%																					
成果に係る評価	終戦から60年以上が経ち、祖父母、両親でさえ戦争体験がない世代である中学生に戦争の悲惨さや恐ろしさを実感させることができるのは、この事業以外には難しい。平成24～25年度は広島への派遣を中止し、講話を実施しながら、アンケートを実施し、それを参考にしながら、平成26年度から再開する広島への派遣における研修内容の充実を図る。恒久平和に貢献できる人材育成という事業の目的を達成するために、今後もこの事業の継続を行う。																							
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	417,538	30,000				30,000																		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()								
	1 項	総務管理費		第 節			()								
	25 目	諸費		()			()								
実施計画掲載ページ			小 事 業	コミュニティ施設関係費											
事業コード			事 業 名	コミュニティ施設管理運営事業											
目的及び事業内容		地域住民の連帯意識を高め、住民の福祉と健康の増進に寄与し、地域のコミュニティづくりの推進を図るために、コミュニティ施設を設置する。													
取 組 実 績		<p>1 向陽地区コミュニティセンター</p> <table border="1"> <tr> <td>区 分</td> <td>利用者数</td> </tr> <tr> <td>年間利用実績 (H24)</td> <td>24,889人</td> </tr> </table> <p>2 鹿妻南コミュニティハウス</p> <table border="1"> <tr> <td>区 分</td> <td>利用者数</td> </tr> <tr> <td>年間利用実績 (H24)</td> <td>7,041人</td> </tr> </table>						区 分	利用者数	年間利用実績 (H24)	24,889人	区 分	利用者数	年間利用実績 (H24)	7,041人
区 分	利用者数														
年間利用実績 (H24)	24,889人														
区 分	利用者数														
年間利用実績 (H24)	7,041人														
成 果		震災により、2施設（向陽・鹿妻）を新たに直営管理で運営することとなったため、施設管理人を配置して適正管理に努め、市民や市民団体等が様々な活動を行う場を提供することができた。													
成果に係る評価		震災の被害により社会教育施設や集会所等のコミュニティ施設が減少したことから、多くの市民に利用してもらうことができた。 また、地域住民のサークル活動などの場所を提供できたことにより、地域住民の連携意識を高める機会を提供することができた。													
(単位：円)															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源									
	9,252,183	8,054,665				8,054,665									

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()																																
	1 項	総務管理費		第 節			()																																
	25 目	諸費		()			()																																
実施計画掲載ページ			小 事 業	NPO支援推進費																																			
事業コード			事 業 名	NPO支援オフィス支援推進事業																																			
目的及び事業内容		市民公益活動団体の活動支援の拠点として「NPO支援オフィス」を開設し、市民公益活動団体、市民、事業者及び市の連携・交流の場所を提供することにより石巻市内で活動するNPOの育成・支援を図る。 1 NPO支援オフィスの管理運営 2 石巻市市民公益活動団体の登録 3 NPOに関する相談対応 4 石巻市NPO支援オフィス通信「月刊んぼん舗」の発行																																					
取 組 実 績		<p>1 NPO支援オフィスの管理運営</p> <p>NPO支援を目的として活動している特定非営利活動法人いしのみまきNPOセンターを指定管理者とし、多様化する利用者の様々なニーズに、より効果的かつ効率的に対応することができた。</p> <p>2 石巻市市民公益活動団体の登録</p> <p>平成24年度末の登録は96団体であり、それらの団体に対する会議室や情報提供など、様々なサービスの提供を行った。</p> <p>3 NPOに関する相談対応</p> <p>NPO団体設立・運営に係る相談、補助金の案内等を行った。</p> <p>4 石巻市NPO支援オフィス通信「月刊んぼん舗」の発行</p> <p>毎月1日に発行し、登録団体のインフォメーション、取材日記、助成金情報、講座開催情報等を掲載し、広く情報発信を行った。</p> <p>5 NPO支援オフィスのホームページの管理及び情報の更新を行った。</p>																																					
成 果		<p>NPO支援オフィス利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>来館者数</th> <th>会議室利用数</th> <th>相談件数</th> <th>図 書 閲覧者数</th> <th>パソコン利用者数</th> <th>機 器 利用者数</th> <th>掲示物 依頼数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23実績</td> <td>2,297人</td> <td>104件</td> <td>420件</td> <td>2人</td> <td>89人</td> <td>296人</td> <td>28件</td> </tr> <tr> <td>H24実績</td> <td>2,305人</td> <td>101件</td> <td>143件</td> <td>6人</td> <td>80人</td> <td>345人</td> <td>51件</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>8人増</td> <td>3件減</td> <td>277件減</td> <td>4人増</td> <td>9人減</td> <td>49人増</td> <td>23件増</td> </tr> </tbody> </table> <p>・石巻市市民公益活動団体登録数 96団体(前年度末件数から12団体増)</p> <p>・メールボックス利用団体数 9団体</p> <p>・貸しロッカー利用団体数 12団体</p> <p>市民活動の情報発信基地として、情報機能の充実を図りながら団体や助成金等の情報提供のほか、各種相談対応に当たるなど、石巻市内で活動するNPOの育成・支援が図られた。</p>						区分	来館者数	会議室利用数	相談件数	図 書 閲覧者数	パソコン利用者数	機 器 利用者数	掲示物 依頼数	H23実績	2,297人	104件	420件	2人	89人	296人	28件	H24実績	2,305人	101件	143件	6人	80人	345人	51件	前年度比	8人増	3件減	277件減	4人増	9人減	49人増	23件増
区分	来館者数	会議室利用数	相談件数	図 書 閲覧者数	パソコン利用者数	機 器 利用者数	掲示物 依頼数																																
H23実績	2,297人	104件	420件	2人	89人	296人	28件																																
H24実績	2,305人	101件	143件	6人	80人	345人	51件																																
前年度比	8人増	3件減	277件減	4人増	9人減	49人増	23件増																																
成果に係る評価		震災以降、NPO活動が活発化し、NPO支援オフィスへの来館者も増加している。 NPO支援オフィスの役割としては、会議スペースの提供だけではなく、市内で活動するNPOの育成・支援およびNPOと市民、事業者、行政の連携・交流場所の提供にあり、サービス向上のための方策として、相談対応や情報発信など上記の取組を行ってきた。こうした成果もあり、石巻市市民公益活動団体登録団体数については増加している。																																					
(単位：円)																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
	5,500,000	5,500,000				5,500,000																																	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()									
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()									
	25 目	諸費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()									
実施計画掲載ページ		P28	小 事業	国内姉妹都市・友好都市交流推進費												
事業コード		02030102	事業名	ひたちなか市との姉妹都市交流事業												
目的及び事業内容		石巻市民と茨城県ひたちなか市民の友好協力関係を促進するとともに、両市の特性を活かした交流と地域の活性化を推進するため、隔年ごとに相互を訪問して姉妹都市交流を行う。														
取組実績		<p>姉妹都市としての交流を図り、地域の活性化を図るため下記の事業を実施した。</p> <p>1 姉妹 J C 青少年交流事業 ○日程 平成24年11月3日(土)～4日(日) ○場所 茨城県ひたちなか市総合運動公園ほか ○内容 姉妹都市であるひたちなか市、そして東日本大震災を経験し、最大の被災地となった石巻市との高校生が自分達のまちづくり、地域について共に考える機会を設けることで、これからの地域未来を担っていく青少年が、真剣に地域のことを考え、行動を起こしていくリーダーとなれるよう育成していくための事業として(社)ひたちなか青年会議所主催により開催された。</p> <p>2 石巻市・ひたちなか市姉妹都市定期交流会 ○日程 平成25年2月9日(土)～10(日) ○場所 茨城県ひたちなか市 ホテルニュー白亜紀 ○内容 東日本大震災により、ひたちなか市・石巻市ともに地震・津波の被害を受け、未曾有の大災害を通して、自主防災組織をはじめとする地域の防災力向上の必要性が再認識されたことから、「地域防災」をテーマとし、各市の地域防災への取り組み状況(震災前と今後の予定)などの事例発表と自主防災組織関係者の意見交換会を行い、その後は懇親会を通して交流を深めた。</p>														
成果		<p>両市町の連携が強まり、地域相互間でそれぞれ交流が図られた。 石巻市とひたちなか市のより一層の友好も深めることができたことで、今回の交流会は大きな成果があった。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>実施年度</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> </tr> <tr> <td>各交流事業への参加人数</td> <td>27人</td> <td>—</td> <td>39人</td> </tr> </table> <p>※隔年実施</p>							実施年度	H22	H23	H24	各交流事業への参加人数	27人	—	39人
実施年度	H22	H23	H24													
各交流事業への参加人数	27人	—	39人													
成果に係る評価		友好協力関係を促進し、両市の地域活性化を推進するため、引き続き姉妹都市の交流事業を継続する必要がある。														
(単位：円)																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	760,000	403,437				403,437										

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()									
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()									
	25 目	諸費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()									
実施計画掲載ページ		P28	小 事業	国内姉妹都市・友好都市交流推進費												
事業コード		02030101	事業名	河北町との友好都市交流事業												
目的及び事業内容		国内において、唯一同町名である「山形県河北町」との相互交流を促進し、教育・文化・福祉・産業等の振興を図り信頼と友情を深め、もって両町の発展に寄与する事を目的に、平成13年1月旧河北町と山形県河北町は友好都市の盟約を締結した。平成17年4月、新石巻市の誕生により平成18年1月30日新たに友好都市盟約を締結した。														
取組実績		<p>石巻市民と山形県河北町民の友好協力関係を促進するため、両市町の特性を活かした交流と活性化を推進するため下記の事業を実施した。</p> <p>1 友好都市交流記念事業式典 ○日程 平成24年8月4日(土) ○場所 山形県河北町 河北町総合交流センターほか ○内容 はねこ踊りには、約40名が参加し、物産交流なども行った。</p> <p>2 スポーツ交流事業 ○日程 平成24年9月15日(土)・16日(日) ○場所 山形県河北町 谷地中部小学校ほか ○内容 野球大会として、計45名(小学生及び父兄)が参加し交流を図った。</p> <p>3 どんがまつり招待事業 ○日程 平成24年9月16日(日) ○場所 河北町 谷地八幡神社・紅花資料館ほか ○内容 石巻市民39人が招待され、交流を図った。</p> <p>4 記念植樹事業 ○日程 平成24年12月14日(金) ○場所 石巻市 飯野川第一小学校 ○内容 桜の植樹を実施し、約120名(小学生・幼稚園児)が参加した。</p>														
成果		<p>平成23年度に友好都市盟約締結から10周年を迎え、記念式典を行う予定であったが、震災のため、1年先送りし、平成24年度に記念式典並びにスポーツ交流が開催された。 式典では、災害相互応援協定締結されるなど両市町の連携が深まった。また、友好都市交流事業開催により、より一層友好を深めることができた。 河北町では、大漁まつりの見学を予定していたが、大漁まつりの規模縮小のため来石を断念した経緯があり、今後の更なる交流が期待されている。なお、民間ベースの事業として、例年「道の駅 かほく・上品の郷」が主体の「山形県河北町さくらんぼ狩りツアー」も開催されている。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>実施年度</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> </tr> <tr> <td>各交流事業への参加人数</td> <td>58人</td> <td>震災により中止</td> <td>244人</td> </tr> </table>							実施年度	H22	H23	H24	各交流事業への参加人数	58人	震災により中止	244人
実施年度	H22	H23	H24													
各交流事業への参加人数	58人	震災により中止	244人													
成果に係る評価		交流事業を行うことにより、友好協力関係を促進し、両市町の特性を活かした交流と活性化を推進することができた。今後、震災前のような相互の交流が再開、継続されることが必要である。														
(単位：円)																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	658,000	589,117				589,117										

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費		第 節		(1)	新たな防災体制の構築
	26 目	東日本大震災関係費		()		(4)	震災記録の継承
実施計画掲載ページ	P 111		小 事 業	震災広報関係費			
事業コード	10-104-001-020		事 業 名	震災記録収集整理事業〔復興交付金〕			
目的及び事業内容	震災の記録を保存し、復興への道程をデジタルアーカイブとして後世に伝え、今後の防災事業等の一助とする。						
取 組 実 績	1 震災記録写真、動画データ等の収集・整理 2 被災体験談記録（オーラルヒストリー）収集事業 ・被災した市民の被災体験談をビデオカメラで撮影し保存 3 震災関連資料のデジタル化 ・記者投げ込み資料、避難所人数調べ等のデジタル化 4 石巻市災害記録映像制作事業（DVD3巻で構成） ・第1巻 石巻地区の被害状況、巨大津波のメカニズム、震災がもたらした各課題 他 ・第2巻 雄勝・牡鹿の被害状況、避難所、ボランティア、ライフライン、災害医療 他 ・第3巻 河北・河南・桃生・北上の被害状況、仮設住宅、文化財、学校 他 5 アーカイブシンポジウム開催（共催：独立行政法人防災科学技術研究所） ・アーカイブ事例紹介 ・自治体アーカイブについてパネルディスカッション 6 アーカイブフォーラム開催（共催：独立行政法人防災科学技術研究所） ・基調講演（東京大学副学長・東北大学教授・防災科学研究所プロジェクトディレクター）及びパネルディスカッション ・被災体験談収録ビデオ上映及び被災復興写真展示						
成 果	シンポジウムやフォーラムを開催することにより、震災アーカイブの必要性を市民に周知することができた。 また、震災の記録写真を展示することで、市民の防災への意識の高揚が図られた。						
成果に係る評価	今後も継続して復興過程を記録し、震災関連資料の収集等を行う必要がある。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	11,130,000	11,130,000			9,870,000	1,260,000	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
	1 項	総務管理費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保
	26 目	東日本大震災関係費		()		(1)	被災者への生活支援
実施計画掲載ページ	P 128		小 事 業	震災広報関係費			
事業コード	20-101-001-083		事 業 名	市報臨時号発行委託業務〔復興基金〕			
目的及び事業内容	東日本大震災による復旧復興の様々な情報を迅速に発信するため、市報復興号として市報15日号を毎月発行する。						
取 組 実 績	より多くの復旧復興関連情報を掲載した市報を毎月発行した。 当初4ページの紙面を11月15日号から8ページにし、更に2月15日号においては復興のまちづくりの姿を掲載するため12ページとした。 また、説明に地図や写真等を使用し掲載したことにより、分かりやすい市報の発行に努めた。 〔市報復興号発行〕 毎月15日発行、発行部数月63,500部、4～10月：4ページ、11～1月・3月：8ページ、2月：12ページ、フルカラー 掲載内容 ・平成24年度施政方針 ・今後の住まい等に関する相談会 ・被災者の生活支援状況 ・震災復興状況 ・主な復興事業の進捗状況と今後の予定 ・復興交付金 ・防災集団移転促進事業 ・復旧事業等の進捗状況 ・災害公営住宅の進捗状況 ・復興事業の概要と行程 ・生活再建に対する支援 ・震災後に新たに行う防災・減災対策 ・平成25年度の復興事業の概要とスケジュール						
成 果	市報のページを増やすことにより、多くの震災復興関連の情報を迅速かつ的確に発信することができた。						
成果に係る評価	被災した市民に対する生活再建情報や災害公営住宅関連情報は、生活を再建するうえでの確に早く伝えることが必要であることから、今後も柔軟な対応で発行していくこととする。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	9,773,400	9,773,400			8,538,400	1,235,000	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 節			()	
	26 目	東日本大震災関係費		()			()	
実施計画掲載ページ			小 事 業	震災広報関係費				
事業コード			事 業 名	全国避難者市報等郵送事業〔復興基金〕				
目的及び事業内容		東日本大震災により被災し、余儀なく石巻市外に避難している市民に行政情報や復興関連情報、生活再建情報を伝えるため、市報等を郵送する。						
取 組 実 績		<p>全国避難者情報システムに登録している市民や石巻市外のみなし仮設に入居している被災した市民等へ、市報1日号と15日号の発行に合わせ月2回郵送した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回平均・・・2,743通 ・郵送物・・・市報、県政だより、社協だより、倒壊家屋等解体撤去申請期限周知チラシ、選挙チラシ、送付先住所変更チラシ ・郵送方法・・・ゆうメール 						
成 果		石巻市の情報を伝えることで、市外で生活している市民の不安要素が取り除かれた。						
成果に係る評価		被災し市外で生活している市民に再び石巻市に戻っていただくことから、行政情報や生活再建情報等を伝えることは必要であるので、今後も市報等を継続して送付することとする。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	5,914,177		5,914,177				5,914,177	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費		第 節			(3)	減災まちづくりの推進
	26 目	東日本大震災復興関係費		()			(3)	新エネルギー等の活用
実施計画掲載ページ		P124	小 事 業	復興協働プロジェクト関係費				
事業コード		10-303-001-077	事 業 名	復興協働プロジェクト協議会関連事業				
目的及び事業内容		本市では、新エネルギーを活用した循環型社会、世界最先端のエコタウンの実現等により、国内外からヒト・モノ・カネ・情報が集まり、産業の創造と雇用の創出が図られる魅力的な都市として石巻市を復興させることを目的とし産学官の協働組織である石巻復興協働プロジェクト協議会を設置した。なお、当協議会を構成する地元企業、団体並びに国内の代表的な企業、大学との連携により、本市復興に必要な事業の特定及び事業内容の立案、検討等を行い、現在10事業を選定し取り組んでいる。						
取 組 実 績		<p>1 協議会について</p> <p>(1) 参加企業・団体数 30 団体</p> <p>(2) ステアリングコミッテイの開催 1 回</p> <p>(3) 医療・介護・福祉・くらしWG 8 回</p> <p>2 事業内容について</p> <p>(1) エコ・セーフティタウン事業</p> <p>(2) ICTセンター事業</p> <p>(3) 水産加工高度化事業</p> <p>(4) 次世代食料供給事業</p> <p>(5) 水産加工地区エネルギーセンター事業</p> <p>(6) バイオマス発電事業</p> <p>(7) 医療・介護・福祉・在宅情報連携基盤ネットワーク整備事業</p> <p>(8) くらしに関する事業</p> <p>(9) 安心して子育てできる街づくり(周産期医療)事業</p> <p>(10) 巡回型診療による医療の均てん化(ドクターカー)事業</p>						
成 果		<p>上記について、関係企業・団体等との協働により事業の実施や検討を進めることができた。</p> <p>○ 事業の成果</p> <p>(1) エコ・セーフティタウン事業 スマートコミュニティ・マスタープランを策定のうえ一般社団法人新エネルギー導入促進協議会スマートコミュニティ導入促進事業採択審査委員会の承認を受けた。(平成25年度から構築事業へ移行。)</p> <p>(2) 次世代食料供給事業 藻類バイオマス事業においては、平成25年3月にモデルファームが竣工した。</p> <p>(3) 医療・介護・福祉・在宅情報連携基盤ネットワーク整備事業 一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会(MMWIN)が、平成25年7月からの運用開始に向け、ネットワークを構築中(会員の拡大は随時図る。)</p> <p>(4) 安心して子育てできる街づくり(周産期医療)事業 医師やその他医療プロバイダーが周産期救急に効果的に対応するための教育プログラムを実施した。</p> <p>(5) 巡回型診療による医療の均てん化(ドクターカー)事業 地域における医療機関の不足に伴い、巡回型の在宅医療を推進するため、特定寄附信託を活用し、ドクターカー1台の寄贈を受けた。</p>						
成果に係る評価		石巻復興協働プロジェクト協議会で選定した10事業については、本市の現状を踏まえた上での検討や事業を実施することにより、エコセーフティタウン事業におけるマスタープランの策定や東北大学の研究事業との連携など、今後の展開に向けた成果を得ることができた。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	2,944,000		2,872,663					2,872,663

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																							
	1 項	総務管理費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																							
	26 目	東日本大震災関係費		()		(1)	被災者への生活支援																							
実施計画掲載ページ	P 130		小 事 業	特定被災地域交通対策関係費																										
事業コード	20-101-005-088		事 業 名	応急仮設住宅バス運行事業																										
目的及び事業内容	<p>応急仮設住宅の立地場所は、日常生活における買い物や通院などに不便な地区が多くあり、応急仮設住宅生活者を中心とした被災者が基本的な生活を送ることができるよう、商業施設や医療機関を巡回するバスを低廉な運賃で継続して運行するため、運行主体に対し運行費を補助する。</p>																													
取 組 実 績	被災者の日常生活を支援するため、低廉な運賃でバスを運行している運行主体に対し運行費を補助した。																													
	<p>平成24年度路線別補助の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>運行主体（補助対象）</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市内仮設住宅循環線</td> <td>株ミヤコーバス</td> <td>5,580,406円</td> </tr> <tr> <td>河北地区仮設住宅線</td> <td>河北地区住民バス運行協議会</td> <td>7,467,318円</td> </tr> <tr> <td>桃生地区仮設住宅線</td> <td>桃生地区運行協議会</td> <td>6,741,909円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>19,789,633円</td> </tr> </tbody> </table>							路線名	運行主体（補助対象）	補助金額	石巻市内仮設住宅循環線	株ミヤコーバス	5,580,406円	河北地区仮設住宅線	河北地区住民バス運行協議会	7,467,318円	桃生地区仮設住宅線	桃生地区運行協議会	6,741,909円	合計		19,789,633円								
路線名	運行主体（補助対象）	補助金額																												
石巻市内仮設住宅循環線	株ミヤコーバス	5,580,406円																												
河北地区仮設住宅線	河北地区住民バス運行協議会	7,467,318円																												
桃生地区仮設住宅線	桃生地区運行協議会	6,741,909円																												
合計		19,789,633円																												
成 果	乗車区間に関わらず一律100円という運賃の効果もあり、被災者の通院、買物等の生活の足として定着し、被災者支援が図られた。																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="2">H23</th> <th colspan="2">H24</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市内仮設住宅循環線</td> <td>10,950人</td> <td>854便</td> <td>22,675人</td> <td>1,470便</td> </tr> <tr> <td>河北地区仮設住宅線</td> <td>2,181人</td> <td>360便</td> <td>6,595人</td> <td>735便</td> </tr> <tr> <td>桃生地区仮設住宅線</td> <td>856人</td> <td>476便</td> <td>4,699人</td> <td>980便</td> </tr> </tbody> </table> <p>※石巻市内仮設住宅循環線は平成23年9月1日より運行開始 ※河北地区仮設住宅線、桃生地区仮設住宅線は平成23年10月1日より運行開始</p>							路線名	H23		H24		利用者数	便数	利用者数	便数	石巻市内仮設住宅循環線	10,950人	854便	22,675人	1,470便	河北地区仮設住宅線	2,181人	360便	6,595人	735便	桃生地区仮設住宅線	856人	476便	4,699人
路線名	H23		H24																											
	利用者数	便数	利用者数	便数																										
石巻市内仮設住宅循環線	10,950人	854便	22,675人	1,470便																										
河北地区仮設住宅線	2,181人	360便	6,595人	735便																										
桃生地区仮設住宅線	856人	476便	4,699人	980便																										
成果に係る評価	被災者の交通手段確保及び低廉な運賃での運行により被災者の負担軽減を図り、生活支援の一助となった。 <p>自家用車を保有しない高齢者等を中心とした応急仮設住宅生活者の支援という趣旨から、応急仮設住宅が存続する限りは今後も運行を継続していく必要があり、利用者の声も踏まえ、ダイヤ改正や停留所の設置・変更等、利用者にとってより使いやすいバスとなるよう運行主体へ提言していく。</p>																													
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	20,207,000	19,789,633	19,600,000			189,633																								

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域のかみでみんなを守る
	26 目	東日本大震災関係費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ	P 114		小 事 業	地域自治システム関係費			
事業コード	10-201-005-029		事 業 名	地域自治システム構築支援事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容	<p>地域の特徴を生かした地域住民自身の意思に基づくまちづくりや住民自治の確立を目指し、市民と行政が協働のまちづくりを進めていくため地域自治システムを構築する。</p>						
取 組 実 績	<p>震災の被害が少なかった河南地域で、平成24年8月に河南地域住民自治協議会が設立された。地域の住民相互の連帯のもと、地域の創意と工夫、判断と責任を尊重し、市民と行政の協働による魅力あるまちづくりを推進し、住民自治組織の円滑な運営と個性あふれる地域づくりを支援するため、石巻市住民自治組織交付金を交付した。</p> <p>【交付内容】 河南地域住民自治組織交付金 2,188,200円 (1) 地域づくり交付金 1,845,000円 ・自治組織運営費 ・地域づくり事業費（課題解決等に充てる費用） 被災生徒学習支援事業、通学路等歩道除雪事業、犬の糞持ち帰ろう看板製作事業 他</p> <p>(2) 地域魅力づくり事業交付金 343,200円 ・防災推進まちづくり事業（防災マップ作製）〔和洲地区〕 ・ゴミポイ捨て禁止啓発事業〔北村地区〕</p>						
	成 果	<p>「自分たちの住む地域をより住みやすくするためには、どうしたらよいか」を地域住民一人一人が真剣に考え、実践することで多様化する地域ニーズの解決に素早く効果的に対応できる。また、市民と行政がお互いを理解し、それぞれの特性を活かし一緒に協働のまちづくりを進めることにより市民満足度の高い地域社会づくりが形成される。</p>					
成果に係る評価	<p>これからの社会のあり方として、少子高齢化が急速に進行するとともに、税収の減少等により、これまでのような手法でまちづくりを行うことが困難であることから、市民一人一人が自分たちの住むところは自分たちで住みよい街にしようといった自主的な考え、行動を実践できるしくみとして地域自治システムの構築を推進していくことが重要である。</p> <p>石巻市内を17ブロックに分け、住民自治組織を設立する予定である。しかし、住民自治組織の母体となる地域コミュニティが震災により大きな打撃を受けている地域もあり、一律に推進することが困難であることから、復興の状況を見ながら推進を図っていく必要がある。</p>						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	2,205,000	2,188,200			2,188,200		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																											
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の力でみんなで守る																											
	26 目	東日本大震災関係費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援																											
実施計画掲載ページ	P112		小 事業	地域コミュニティ再生関係費																														
事業コード	10-201-003-024		事業名	コミュニティ形成支援補助事業 (コミュニティづくり支援事業費補助金)〔復興基金〕																														
目的及び事業内容	<p>震災の影響で町内会等による祭りなどのイベント等の開催が自粛され、コミュニケーションづくりの場が少なくなっていることから、住民主体で開催する交流事業やイベントなどの事業に助成を行い、町内会組織等の再生と仮設住宅団地内のコミュニケーションづくりやコミュニティの育成促進を図る。</p> <p>支援補助額：1団体年1回とし、5万円を限度として補助</p>																																	
取組実績	<p>市内に設立されている町内会や仮設住宅団地の自治会組織等の住民自治組織80団体80事業に対し、3,951,086円の補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>件数</th> <th>補助金交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻</td> <td>39件</td> <td>1,935,986円</td> </tr> <tr> <td>河北</td> <td>5件</td> <td>250,000円</td> </tr> <tr> <td>雄勝</td> <td>0件</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>河南</td> <td>31件</td> <td>1,515,100円</td> </tr> <tr> <td>桃生</td> <td>2件</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>北上</td> <td>2件</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>牡鹿</td> <td>1件</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>80件</td> <td>3,951,086円</td> </tr> </tbody> </table>							地区名	件数	補助金交付額	石巻	39件	1,935,986円	河北	5件	250,000円	雄勝	0件	0円	河南	31件	1,515,100円	桃生	2件	100,000円	北上	2件	100,000円	牡鹿	1件	50,000円	計	80件	3,951,086円
	地区名	件数	補助金交付額																															
石巻	39件	1,935,986円																																
河北	5件	250,000円																																
雄勝	0件	0円																																
河南	31件	1,515,100円																																
桃生	2件	100,000円																																
北上	2件	100,000円																																
牡鹿	1件	50,000円																																
計	80件	3,951,086円																																
成果	<p>震災の影響で少なくなっていた住民主体によるイベントや交流事業が各地で開催され、地域づくりのためのコミュニケーションづくりを推進することができた。</p>																																	
成果に係る評価	<p>震災の影響でイベント等の開催はまだ自粛されているものの、復興が進むにつれてコミュニティ活動が活発になり、交付件数も増加すると見込まれる。</p>																																	
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	5,800,000	3,951,086			3,951,086																													

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																																																																																																																																																																																																																								
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の力でみんなで守る																																																																																																																																																																																																																								
	26 目	東日本大震災関係費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援																																																																																																																																																																																																																								
実施計画掲載ページ	P113		小事業	地域コミュニティ再生関係費																																																																																																																																																																																																																											
事業コード	10-201-003-025		事業名	集会所等コミュニティ施設復旧整備事業																																																																																																																																																																																																																											
目的及び事業内容	<p>【目的】 市民と行政の協働のまちづくりを図る。</p> <p>【内容】 東日本大震災により被災した集会所の新築、改築、増築、改修事業への助成や集会所として使用する目的である既存建物・土地の取得事業への助成</p>																																																																																																																																																																																																																														
取組実績	<p>被災集会所の改築、増築及び改修事業</p> <p>1【新築8件】(石巻6件)・榎壇集会所・大街道分館・境谷地会館・南中里会館・駅前親交会 ・小積浜集会所(河北1件)・谷地公民館(北上1件)・橋浦本地生活センター</p> <p>2【改修26件】(石巻18件)・中里会館・裏沢田集会所・大瓜井内、井内西部集会所・大橋会館 ・祝田一区集会所・不動町集会所・福貴浦会館・牧浜集会所・蛇田上第一区会館・山下会館 ・大街道会館・貞山町内会会館・牧山参道会館・万石町集会所・内原集落センター・青葉会館 ・水沼東部構造改善センター・沼津集落センター (河北7件)・五十五人生活センター・鳥屋森公民館・鶴家公民館・三輪田下公民館・牧野巣公民館 ・中島生活センター・梨の木公民館(桃生1件)・新田四部落会館</p> <p>住民活動の拠点となる集会所の建築、取得事業に対する支援を通じて、既存コミュニティの再生支援と新たなコミュニティ組織づくりの推進が図られた。</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業費</th> <th>補助額</th> <th>割合</th> <th>事業名</th> <th>事業費</th> <th>補助額</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>榎壇集会所新築及び土地購入</td> <td>23,189</td> <td>20,189</td> <td>上限</td> <td>沼津集落センター改修事業</td> <td>2,323</td> <td>2,000</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>駅前親交会館新築事業</td> <td>24,000</td> <td>21,132</td> <td>上限</td> <td>五十五人生活センター改修事業</td> <td>1,635</td> <td>1,635</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>小積浜集会所新築事業</td> <td>11,424</td> <td>11,424</td> <td>全額</td> <td>鳥屋森公民館改修、修繕事業</td> <td>1,345</td> <td>1,345</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>境谷地会館新築事業</td> <td>19,530</td> <td>15,050</td> <td>上限</td> <td>鶴家公民館改修事業</td> <td>215</td> <td>215</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>大街道分館新築事業</td> <td>23,267</td> <td>8,000</td> <td>繰越</td> <td>三輪田下公民館改修事業</td> <td>1,506</td> <td>1,506</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>南中里会館新築事業</td> <td>21,263</td> <td>8,500</td> <td>繰越</td> <td>牧野巣公民館改修事業</td> <td>1,872</td> <td>1,872</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>谷地公民館新築事業</td> <td>17,382</td> <td>17,382</td> <td>全額</td> <td>中島生活センター改修事業</td> <td>1,553</td> <td>1,553</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>橋浦本地生活センター新築事業</td> <td>21,661</td> <td>19,290</td> <td>上限</td> <td>梨の木公民館改修事業</td> <td>1,431</td> <td>1,431</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>中里会館改修事業</td> <td>1,585</td> <td>1,585</td> <td>全額</td> <td>新田四部落会館改修事業</td> <td>2,217</td> <td>2,000</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>裏沢田集会所改修、修繕</td> <td>1,275</td> <td>1,275</td> <td>全額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大瓜井内・井内西部集会所改修、修繕</td> <td>868</td> <td>868</td> <td>全額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大橋会館改修事業</td> <td>1,890</td> <td>1,890</td> <td>全額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>山下会館改修、修繕事業</td> <td>2,352</td> <td>2,352</td> <td>全額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>青葉会館改修、修繕事業</td> <td>4,914</td> <td>2,244</td> <td>上限</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>祝田一区集会所改修、修繕事業</td> <td>1,315</td> <td>1,315</td> <td>全額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>不動町集会所付帯設備修繕事業</td> <td>131</td> <td>131</td> <td>全額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>福貴浦会館改修、修繕事業</td> <td>2,363</td> <td>2,363</td> <td>全額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>牧浜集会所改修、修繕事業</td> <td>2,983</td> <td>2,983</td> <td>全額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水沼東部構造改善センター改修、修繕</td> <td>567</td> <td>567</td> <td>全額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蛇田上第一区会館改修事業</td> <td>913</td> <td>913</td> <td>全額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大街道会館改修事業</td> <td>1,995</td> <td>1,780</td> <td>上限</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>貞山町内会会館改修事業</td> <td>1,364</td> <td>1,364</td> <td>全額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>牧山参道会館改修、修繕事業</td> <td>1,776</td> <td>1,751</td> <td>上限</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>万石町集会所改修、修繕事業</td> <td>1,645</td> <td>1,645</td> <td>全額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>内原集落センター改修、修繕事業</td> <td>6,122</td> <td>3,000</td> <td>上限</td> <td>小計</td> <td>14,097</td> <td>13,557</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>195,774</td> <td>148,993</td> <td></td> <td>合計</td> <td>209,871</td> <td>162,550</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							事業名	事業費	補助額	割合	事業名	事業費	補助額	割合	榎壇集会所新築及び土地購入	23,189	20,189	上限	沼津集落センター改修事業	2,323	2,000	上限	駅前親交会館新築事業	24,000	21,132	上限	五十五人生活センター改修事業	1,635	1,635	全額	小積浜集会所新築事業	11,424	11,424	全額	鳥屋森公民館改修、修繕事業	1,345	1,345	全額	境谷地会館新築事業	19,530	15,050	上限	鶴家公民館改修事業	215	215	全額	大街道分館新築事業	23,267	8,000	繰越	三輪田下公民館改修事業	1,506	1,506	全額	南中里会館新築事業	21,263	8,500	繰越	牧野巣公民館改修事業	1,872	1,872	全額	谷地公民館新築事業	17,382	17,382	全額	中島生活センター改修事業	1,553	1,553	全額	橋浦本地生活センター新築事業	21,661	19,290	上限	梨の木公民館改修事業	1,431	1,431	全額	中里会館改修事業	1,585	1,585	全額	新田四部落会館改修事業	2,217	2,000	上限	裏沢田集会所改修、修繕	1,275	1,275	全額					大瓜井内・井内西部集会所改修、修繕	868	868	全額					大橋会館改修事業	1,890	1,890	全額					山下会館改修、修繕事業	2,352	2,352	全額					青葉会館改修、修繕事業	4,914	2,244	上限					祝田一区集会所改修、修繕事業	1,315	1,315	全額					不動町集会所付帯設備修繕事業	131	131	全額					福貴浦会館改修、修繕事業	2,363	2,363	全額					牧浜集会所改修、修繕事業	2,983	2,983	全額					水沼東部構造改善センター改修、修繕	567	567	全額					蛇田上第一区会館改修事業	913	913	全額					大街道会館改修事業	1,995	1,780	上限					貞山町内会会館改修事業	1,364	1,364	全額					牧山参道会館改修、修繕事業	1,776	1,751	上限					万石町集会所改修、修繕事業	1,645	1,645	全額					内原集落センター改修、修繕事業	6,122	3,000	上限	小計	14,097	13,557		小計	195,774	148,993		合計	209,871	162,550	
事業名	事業費	補助額	割合	事業名	事業費	補助額	割合																																																																																																																																																																																																																								
榎壇集会所新築及び土地購入	23,189	20,189	上限	沼津集落センター改修事業	2,323	2,000	上限																																																																																																																																																																																																																								
駅前親交会館新築事業	24,000	21,132	上限	五十五人生活センター改修事業	1,635	1,635	全額																																																																																																																																																																																																																								
小積浜集会所新築事業	11,424	11,424	全額	鳥屋森公民館改修、修繕事業	1,345	1,345	全額																																																																																																																																																																																																																								
境谷地会館新築事業	19,530	15,050	上限	鶴家公民館改修事業	215	215	全額																																																																																																																																																																																																																								
大街道分館新築事業	23,267	8,000	繰越	三輪田下公民館改修事業	1,506	1,506	全額																																																																																																																																																																																																																								
南中里会館新築事業	21,263	8,500	繰越	牧野巣公民館改修事業	1,872	1,872	全額																																																																																																																																																																																																																								
谷地公民館新築事業	17,382	17,382	全額	中島生活センター改修事業	1,553	1,553	全額																																																																																																																																																																																																																								
橋浦本地生活センター新築事業	21,661	19,290	上限	梨の木公民館改修事業	1,431	1,431	全額																																																																																																																																																																																																																								
中里会館改修事業	1,585	1,585	全額	新田四部落会館改修事業	2,217	2,000	上限																																																																																																																																																																																																																								
裏沢田集会所改修、修繕	1,275	1,275	全額																																																																																																																																																																																																																												
大瓜井内・井内西部集会所改修、修繕	868	868	全額																																																																																																																																																																																																																												
大橋会館改修事業	1,890	1,890	全額																																																																																																																																																																																																																												
山下会館改修、修繕事業	2,352	2,352	全額																																																																																																																																																																																																																												
青葉会館改修、修繕事業	4,914	2,244	上限																																																																																																																																																																																																																												
祝田一区集会所改修、修繕事業	1,315	1,315	全額																																																																																																																																																																																																																												
不動町集会所付帯設備修繕事業	131	131	全額																																																																																																																																																																																																																												
福貴浦会館改修、修繕事業	2,363	2,363	全額																																																																																																																																																																																																																												
牧浜集会所改修、修繕事業	2,983	2,983	全額																																																																																																																																																																																																																												
水沼東部構造改善センター改修、修繕	567	567	全額																																																																																																																																																																																																																												
蛇田上第一区会館改修事業	913	913	全額																																																																																																																																																																																																																												
大街道会館改修事業	1,995	1,780	上限																																																																																																																																																																																																																												
貞山町内会会館改修事業	1,364	1,364	全額																																																																																																																																																																																																																												
牧山参道会館改修、修繕事業	1,776	1,751	上限																																																																																																																																																																																																																												
万石町集会所改修、修繕事業	1,645	1,645	全額																																																																																																																																																																																																																												
内原集落センター改修、修繕事業	6,122	3,000	上限	小計	14,097	13,557																																																																																																																																																																																																																									
小計	195,774	148,993		合計	209,871	162,550																																																																																																																																																																																																																									
成果に係る評価	<p>被災した多くの集会所の建設・整備事業は、地域コミュニティの拠点の復旧を図るとともに、これからの復興における市民と行政の協働のまちづくりの推進に大きく寄与することから、今後も継続して補助を行っていく必要がある。</p> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p>																																																																																																																																																																																																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																																																																																																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																																																																																																									
	194,981,000	162,549,139					162,549,139																																																																																																																																																																																																																								

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の力でみんなで守る
	26 目	東日本大震災関係費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ	P112		小 事業	東日本大震災犠牲者追悼式関係費			
事業コード	10-201-001-022		事業名	東日本大震災犠牲者追悼式〔復興基金〕			
目的及び事業内容	平成23年3月11日（金）午後2時46分に発生した大地震とその後襲来した巨大津波により、石巻市では3,000人を超す方々の尊い命が奪われ、多数の方が未だ行方不明となっている。震災の犠牲となられた方々に対し、哀悼の意を捧げるとともに、夢や希望の持てる新しい石巻市としての復興、再生、発展を遂げていく決意を新たにすため、市主催の慰霊祭及び追悼式を開催するもの。						
取組実績	1 日時 平成25年3月11日（月）午後2時30分～午後5時 2 場所 石巻市河北総合センター 3 概要 (1) 式場に祭壇及び献花台を設置した。 (2) 震災で犠牲となられた方々の御遺族（2,759人）に案内状を送付した。 (3) 本庁と各総合支所（河北総合支所を除く。）に祭壇及び献花台を設置し、献花を受け付けた。 (4) 石巻市文化協会による追悼合唱を行った。 (5) 国主催の「東日本大震災二周年追悼式」の中継を、追悼式会場及び各献花場で放映した。 (6) 河北総合センターでの追悼式の模様を各献花場に映像配信した。 (7) 石巻駅前、各総合支所等から送迎バスを運行した。 (8) 地震発生時刻の午後2時46分に、防災無線によりサイレンを吹鳴し、市民に黙祷を呼び掛けた。						
成果	市主催の追悼式を開催することにより、震災の犠牲となられた方々に対し、哀悼の意を捧げるとともに、復興への決意を新たにすることができた。 参列者 追悼式 河北総合センター 1,500人（献花のみ200人） 献花場 石巻市役所3階 900人 雄勝総合支所仮庁舎 161人 遊楽館 95人 桃生総合支所 108人 北上保健医療センター 213人 牡鹿保健福祉センター 270人 計 3,247人 送迎バス利用者 行き 112人 帰り 114人						
成果に係る評価	東日本大震災により犠牲となられた方々に哀悼の意を捧げるとともに、市民一体となり新しい石巻市としての復興、再生、発展を遂げていく決意を示すことができた。						
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	30,000,000	23,588,178			23,588,178		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	復興計画	()	地域の個性が輝き融和するまち																	
	5 項	統計調査費		第 3 節		()	快適な生活環境を実現できる地域にする																	
	3 目	地積調査費		(1)		()	良好な地域を形成する																	
実施計画掲載ページ	P93		小 事業	地籍調査事業費																				
事業コード	6030101		事業名	地籍調査事業																				
目的及び事業内容	毎筆の土地について、地番、地目、所有者、境界及び地籍に関する調査を行い、正確な「地籍図、地籍簿」を作成し地籍の明確化を図る。																							
取組実績	地籍調査を実施した。 1 地籍調査事業 水押一丁目等7単位区域 座標変換、検証測量																							
成果	地籍調査の実施により、地籍の明確化が図られた。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>89.80%</td> <td>89.80%</td> <td>100.00%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>0.00%</td> <td>0.00%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> H23年度は震災により事業休止、H24年度はH21.22年度調査地区の座標変換及び検証測量を実施したが、地籍調査の成果を法務局へ送付していないため、事業進捗率に変動は無く成果指標及び達成率として記載できる数値は無い。						区分	成果指標		達成率等	目標値	実績等	H22	89.80%	89.80%	100.00%	H23	0.00%	0.00%		H24	0.00%	0.00%	
区分	成果指標		達成率等																					
	目標値	実績等																						
H22	89.80%	89.80%	100.00%																					
H23	0.00%	0.00%																						
H24	0.00%	0.00%																						
成果に係る評価	旧石巻市の地籍調査進捗率は現在89.8%である、しかし震災以降は事業を休止しており、H24年度はH21.22調査地区の座標変換及び検証測量を実施、H25年度は同地区の地籍図及び地籍簿の作成等を予定している。 震災以降宮城県内では地籍調査事業を休止している市町村が多く、県の予算も縮小傾向にあり、H25年以降、一筆地調査再開時の県負担分の予算については不透明。 しかし地籍の明確化の必要性や住民が受ける行政サービス及び税負担の公平性を考慮し、合併協定にあるとおり事業の早期完了に向けた取り組みが必要である。 そのためには、人員と財源を確保し事業の包括委託を実施する必要がある。																							
（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	2,409,000	2,036,862	885,000			1,151,862																		